(明治四十三年九月十八日第三種郵便物認可)　大正六年七月十八日　THE KEIJO NIPPO　第三千八百二十八號（一）

京城日報

十七日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

汽車時間表（七月十日改正）

○太平洋艦隊擴張論

米國海軍擴張案の討論

デーリー、テレグラフ紙紐育通信員の所報に據れば米國上院に於て海軍擴張案の討論中上院議員ロッヂレッ氏は巴奈馬運河の航行は甚だ不完全にして艦隊の廻航不確實なるを容認し其れが爲め大西洋艦隊に加ふるに太平洋艦隊をも擴張するの必要ありと說けり（倫敦電報）

○最近獨軍俘虜一萬人

英國公報に曰く我軍は敵を第三防禦線に驅逐し兵二千を捕虜とす英軍は最近の攻勢以來獨軍一萬人を捕虜とせり（倫敦電報）

○露獨中央戰線死守

露軍中央軍司令部附タイムス通信員の所報に據ればヒンデンブルグ將軍は中央戰線の獨軍を叱咤勉勵し呼吸の續かん限り踏み止まるべしと命ぜり中央軍の陣地以外には獨軍と露軍の中間には一も味方の陣地なきを以てなり（倫敦電報）

○獨多額の銅を注文す

獨逸は今回米國に對し多額の銅を注文せり多分戰後に備ふる爲ならん（東京特電）

○遣露宮隨伴員

閑院宮殿下露都御差遣の隨伴員として田中參謀次長も派遣さる可しと傳へらる（東京電報）

○工場法令と樞府

工場法令に關する樞密院特別委員會は二十日迄に結了すべきを以て月末迄に同院本會議に附議し通過すべし（東京電報）

○東宮殿下御避暑

東宮殿下には十七日午前七時二十分東京驛御發箱根宮の下御用邸に御避暑遊ばされたり（東京電報）

○陸軍大更迭か

陸軍に於ける師團長以下の大更迭は八月十日を以て發表せらるべしと傳へらる（東京電報）

○石川選擧訴訟

大阪控訴院にて開廷中の石川縣選擧無効訴訟は二十六日判決言渡ある筈（大阪電報）

○兒玉伯著京期

東上の途にある兒玉伯夫妻一行は十七日夕著京の筈（東京電報）

◉酒稅令愈發布

官制改正も同日發表

酒稅令改正案は全部當局との交涉を了し既に各方面を通過したるを以て不日御裁可を仰ぎ二十日頃までには發布の運びを見る可く、其の實施期は九月一日なるが之に伴ふて同時に公布さる可き技術員並に事務員增置に關する官制改正の件は即日より實施の筈なり、酒稅令改正の目的及び其の內容に就きては之れまで再三其の大要を記載せるも、世には尙ほ輸移入酒に對して特別稅を課するが如く思推する向あり、內地にては殊に此の誤解少なからざる模樣なるが、這は例の關稅据置の關係上直ちに輸移入稅率を引き上ぐること不能なるを以つて、之れに一種の消費稅を賦せむとするものにして、結局鮮內釀酒稅の增率と其の均衡を保持するに外ならず、而かも今回の造酒稅は濁酒其の他內地人側の酒類に在りても極めて低率にして內地の一石二十圓に比すれば素より同日の論にあらず政府の收入も之れに依りて增す處は僅々七十萬圓內外の見込に過ぎざるもの、如し又た之れに伴ふ官制改正の內容は總督府に技師一名を增し地方に技術員及び書記各二十餘名を增置せんとするものにして各道に對する配置員數は釀造高に比例せしむる筈なり

◉屠場令案廻附

現下の屠場法は舊韓國時代の法令にて不備の點尠からず殊に內鮮人各々其の處を異にせる狀況なるを以て之れが改正は既定の事實にして只時機の問題なりしが、警務總監部にては今回之れが改正案を編成、既に總督府に提出せり、直ちに採用の運びを見るや否やは確かならざるも、審議の上採用に決せば政令案として取扱はるゝに至るべし

◉遞信局豫算

遞信局大正六年度豫算概算は目下同局計理課にて編成を急ぎ來る二十一二日迄に度支部へ送致の豫定なるが通信收入の如き何等鮮內の景況を引立たすべき材料の見出されざる今日とて本年度豫算と殆んど差なき程度なるべく歲出に於て多少の新計畫なきに非ざれど大體に於て緊縮を旨とし居れば項目により多少の增加は免れざれど其の總額は經常臨時部共本年豫算との間に開き少かるべしと

◉下水溝協議會

十七日正午京畿道にて

京城下水溝の問題は既に本紙の屢次報道せし如く總督府に於て成案し只經費の支出に關する研究を餘すのみとなり居たるものなり京城市街整理委員會は十五日午前十一時より總督府第二會議室に於て開會し持地委員長以下の各委員及び金谷府尹も列席し前記下水溝の設計に就て設計者と金谷府尹との間に設計及び工費の支出方法等に就て協議する所ありたるが結局下水溝の開設は目下の急務なれば萬難を排して之を起工すること、なりたり只其經費の出所に就ては屠獸場の收入三萬圓內外と自然增收によるものとより外に財源とてはなく自然國庫或は地方費の補助に俟つか事務を節約するか、進んで一部の增稅を行ふか府債を起すかの他に途なきに至りたり、兎に角一應同工事直接の監督官たる京畿道長官とも詳細なる打合を要するものありとし十七日午前正午より京畿道長官室に於て渡邊第二部長、金谷府尹、時永道事務官、石原北部の兩府事務官、富永府書記等打合會を開きたり其協議の結果に就ては未だ公にせられざるも既報の如く松永長官の意見としては府債も增稅も共は行はず府事務費の節約と其他は大部分補助金によりて實行さる、こととなる可く觀測せらる、尙ほ同案にして官邊の協議一決せば府協議員會を開き諮問に附したる上實行に着手すべきものなりと

□外交問題と北京閣議

段內閣は黎總統より交附せし外交問題に就き閣議を開きたるが其內容は日本政府は林男爵を駐支公使に特選したれば是れ日支間に重要問題の發現なる可し之に對する方法如何と時局の未平定は終に外國の干涉を招く可し此れが豫防法如何と外に海牙平和會議に關する問題とありて閣員は多時に亘りて討議したる由なるも未だ其細報に接せず（路透）

◉水上講習終了

本月一日より開會中なりし水上警察事務講習會は豫定の講習を了へたるより十七日午前十時より第一憲兵分隊に於て終了式を擧行し警務總監部各課長列席總長より一場の訓示ありたり

◉異動地整理に就て

異動地所有權の確保を期せざる可からず

臨時土地調査局總務課長 和田一郎氏談

土地調査の際土地の申告を爲し其の申告者の所有として調査を了せられたる土地と雖も、其の後に至り土地の分割、合併、地目變更又は所有權の移轉等ありたるときは是等の異動に付土地調査局に其の申告を爲すは土地臺帳の整理上非常に重要なる事項にして殊に所有權移轉の如き場合に於て若し此の申告を爲さゞるときは土地臺帳面の所有名義は永く舊地主名義に殘存し爲に新なる地主は不便不利を蒙るの虞あること鮮少ならず、斯くては土地調査は爲に其の效果の一部を減損すること、なり官民共に甚大なる煩累を免るゝこと能はざるべし、是れ土地調査令施行規則に土地調査令第四條の申告後土地所有權の移轉其の他土地の異動を生じたるときは直に土地調査局に之が異動申告を爲すべき旨特に規定せらるゝ所以なり。故に本局に於ても殊に此の點に注意し土地

▲異動の申告方に付ては著手前其の部落當該地方に局員を派遣し異動申告の趣旨を說明して之が申告方を督勵し、又地方の府郡に於ても一般に屢々注意を爲し申告漏なきを期し來りたるにも拘はらず、實際賣買移轉ありたる土地にして異動申告を爲し難きもの多きは頗る遺憾とする所なり。尤も所有權移轉の異動申告は原則として前所有者との連署を要し、又土地證明濟のものたるを要するが故に、申告漏の大多數はだ是等の手續を終了せざるが爲に由るものなりと認むるも、土地の收用競賣又は判決に因る所有權の移轉に於ては前所有者の連署を得難き場合は勿論、其の外廣く前所有者が所在不明と爲り又は死亡したる等の爲め其の連署を得難き場合に於ては何れも

▲連署を要せず 單に其の事由を申告書の餘白に附記するを以て足るものとす。但し土地證明に付ては證明簿又は登記簿との連絡を期する爲め必ず二者の一致することを必要とするを以て異動申告を爲すに當りては豫め土地證明を受け置き、其の申告書と證明簿副本と符合するか又は其の符合せざる場合に於ては面長に其の際證明濟證を提出し然して證明を受くることを肝要とす、然るに土地證明に付ては其の手續を嫌忌すると從來の習慣とに因り、之を閑却する者多く單に文記の授受を以て所有權の確保を得たりと爲すの思想を抱く者少からず、殊に地方の富豪中には自己と同一地方に居住する者より土地を買得したる場合の如きに於ては證明又は登記を受くるの必要なきものと考へ、又地方に依りては一時の金融を得る爲め後日買戾を爲すの目的を以て富豪に土地を買却する等の風行はれ何れも文記に依る賣買を爲し證明又は登記を爲さゞるの風あり、是等は皆延て土地異動

▲申告洩を助長 する主因を爲すものにして土地證明又は登記制度の趣旨を了知せざるは非常なる考違なり、勿論朝鮮に於ては臺灣に於けるが如く登記を以て所有權移轉の要件と爲さゞるも證明又は登記を經ざるときは第三者に對抗する上に於て缺陷あるのみならず土地臺帳面の地主の書換をも爲すこと能はず、其の他之に關聯して幾多の支障を惹起し無益の煩累と不利とを招致すること極めて大なり、故に各地主は常に此の點に注意し當初の土地申告後異動ありたるものに付ては漏なく異動整理を完ふする樣其々の手續を怠らず、以て其の權利の保障を完うすることを努むること必要なり、尙ほ土地異動申告用紙は其々各郡に送付しあるを以て之に依り當該郡に就き申告の手續を聽取せばさしたる手數を要せずして簡易に事を運び得ること、爲り居れり

◉地査委員會

高等土地調査委員會は十七日午前十時より總督府第一會議室に開會、山縣委員長以下委員出席し土地查定不服申立事件に對し審議裁決の上十一時半散會せり

◉宇佐美長官歸任

泰川地方に出張せる宇佐美內務部長官は十五日歸任の筈なりしも降雨の爲め道路破損して自動車を通せざりしより更に一日を延期し十六日午後一時歸任したり

◉村瀨氏送別會

村瀨鎌次郎氏送別會は既報の如く十六日午後六時より花月にて開會、來會者百餘名頗る盛會なりき

◉和田總務課長出發

土地調査局總務課長和田一郎氏は慶南地方土地調查委員會臨席及び土地異動整理視察の爲め往復七日の豫定にて十七八日中に出張すべし

◉元山商議役員選擧

元山新商業會議所役員選擧は十五日商業會議所に於て開催會頭には細谷愛介、及川久次郎の兩氏同點を以て最高點なりし爲め更に決選投票を行ひたるに再び同點となり遂に抽籤の上及川久次郎氏當選し引續き副會頭及び常務委員の選擧に移り副會頭には安廷協及川久次郎氏當選常務委員は安廷協、濱忠太郎氏、本岡卯之吉、田中長太郎、小田村廣助の四氏と決定せり

◉京電分配案

京城電氣株式會社にては來る七月二十九日第十六回定時株主總會を生命保險會社協會に於て開會し左の利益金分配案を附議する由

當期純益金	二六六、三九六、二八四
前期繰越金	一九、三五九、五七〇
合計	二八五、七五五、八五四
内	
準備積立金	一五、〇〇〇、〇〇〇
別途積立金	一五、〇〇〇、〇〇〇
使用人退職手當基金	三、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金	七、〇〇〇、〇〇〇
株主配當(年八分)	二二三、〇〇〇、〇〇〇
後期繰越金	二二、七五五、八五四

尙ほ本期決算支出中に五萬圓の興業費償却金を計上されあり

◉米界波瀾と仁川

豫期されし如く仁川取引所硬軟兩派の對峙は十五日に至り其の一角崩壞し一千九百石丈け解け合値段十二圓四十錢前日の引値に比し二十三錢の上値にて軟派にとり極めて不利に解け合ひしが尙ほ當限りの買取組表部五萬六百餘石を餘し居るに付該額の纏まり如何と危ぶまれ殊に買方に

◉鍾路夜市出品申込

趙子爵其他の人々によりて計畫されたる鍾路夜市は愈十九日夜より開市すべしと同夜市に出品希望の者は內外人を問はず京城商業會議所宛申込むべしと

◉韓相龍氏邸雅會

漢城銀行專務韓相龍氏は齊洞自邸に於て十七日午後七時より平常同行と取引關係を有する外國人數名及び小松外事課長、山縣セウルプレス社長を招待し雅會を催せり

◉七月會記念會

去る明治四十年七月京城政變騷動當時鎭壓其他に關係せし人々よりなる七月會は十九日午後六時半本町濟香園に於て十年記念會を開催の由會費二圓當日持參の事出席希望者は同園に申込べしとの事なり

仁川

▲賞牌配送 昨年京都市に開催されたる大典記念全國特產品々評會に於て授賞されたる諸氏に對し今般其筋より賞牌到著に付仁川府尹にては直ちに配送したるが名譽の受領者は宅合名會社仁川支店（名譽金牌）深見勝三郎氏（一等金牌）高野周三郎氏（二等銀牌）吉金喜三郎、吉岡福太、上城種吉の諸氏（三等銅牌）なり

▲和田書記長寄贈 仁川商業會議所書記長和田友太郎氏は曩に母堂ちか子刀自逝去に際し諸方より寄せられたる香典返しを省略し今般金若干圓を公立普通學校基本金中へ寄贈したる由

▲十八支店長送迎會 朝鮮新聞社、我社支局及び堀、淺、飯田、田中、辻川其他有志の發起にて今回釜山支店に轉任の森支店長並に新仁川支店長下田氏の爲めに來る十九日午後六時より八阪樓に於て送迎會を催すべし出席希望者は前示兩新聞社に申込まれたしと

大田

▲近時漁況 天候不定の爲め出漁自然尠なく鯛、鱸等尤も多く鯖、鰺等是れに次ぎ一日平均七十貫位買上げ八十圓餘位にて至つて品薄く群山釜山統營馬山の順にて受荷せり天候恢復と共に多きを加ふるに至るべし魚價は平均貫一圓二三十錢所にて平常に比し二割乃至三割の高價となり居れり

▲協會豫算 實業協會既に成立せしを以て豫算を編成すべき筈にて十七日理事會を開く事となれり

清津

▲清津魚市場高 六月中清津魚市場水揚高は一萬二千四百八十二圓にして未曾有の盛況を呈し前年同期に比し約二倍の增加なり之れ本月は近海魚類の近年になき豐漁なりしに原因し殊に鯖は八千百五十圓の巨額に達せり鯖に亞では鯔一千二百八十七圓鰯一千百三十八圓鰊五百十四圓なり

▲清會線隧道工事 阿川組請負に係る清會線第二區の章興古茂山間は路盤隧道工事共六月末を以て全部完了したるを以て七月五日頃より鐵道局員出張竣功檢查中にて同檢查終了せば直に引渡濟となる譯なり

▲清津港に棧橋 清津、雄基間航路の安全を期する爲め今回其中間なる梨津港頭に棧橋を建設する事となり本月六日光濟丸にて建築材料を搭載し來り直に工事に著手せるが本年十月頃までには完成すべく同棧橋式はアガ式瓦斯燈にて工費約一萬二千圓を要すと

元山

▲長官局長歡迎會 這回來元せる石塚農商工部長官、鈴木土地調查局長一行の爲め元山官民百餘名は十五日午後六時三十分より大芳樓に於て歡迎會を開催せり

▲巽宗大學教授一行 巽宗大谷大學教授河野法雲住田知見舟橋水哉の三氏は滿鮮視察の途中金剛山の探勝をなすべく十四日來元東本願寺別院に入れり

▲繁榮會例會 元山繁榮會にては十五日開催の筈なりし例會は都合に依り十六日に延期し同日午後七時より大芳樓に於て催されたり

平壤

▲福岡縣と平壤牛 福岡縣に於ては曾て平壤牛を種牛として飼育したるところ其成績良好にして飼育希望者增加したれば今回又々種牛として牡四頭購入の爲同縣宗像郡技手大島國太郎氏十三日來壤道勸業課に依賴購入の上歸縣したり尙今春大連に種牛として輸出したるところ是又良好にして已に二頭の子を產みたりと

▲軍人會家族慰安會 平壤在鄕軍人會に於ては十六日午後八時より橋都分會長新任披露を兼ね家族慰安會を催し餘興として三遊亭圓生の落語ありたるが盛會を極めたり

▲大阪高商生徒見學 大阪高等商業學校職員二名生徒十七名は七月十三日大阪出發來壤の旨通知ありたり

▲靜岡縣教育視察團 靜岡縣教育視察團約五十名は八月十九日午前四時十分平壤驛著列車にて來壤名所舊跡其他の視察をなし同日午後三時二十分發列車にて安東縣に向ふ由なり

人事消息

▲阿部安發氏（藤田組技師） 十七日朝入京浦尾へ
▲深川傳次郎氏（新義州府尹） 十八日朝入京浦尾へ（投宿の筈）
▲飯岡政重氏（鎭南浦） 十七日朝入京朝鮮ホテルへ
▲エフ、エル、サイオル氏夫婦（漫遊者） 同上
▲大池忠助氏（釜山商業會議所會頭） 十七日朝督府に政務總監を訪ふ
▲鹿原文一氏（水産技師） 水産狀況視察の爲め全南巡回中の處十八日朝歸任すべし
▲櫻井茂三郎氏（忠淸北道務部長） 十六日夜內地へ

廣告

日露協約の締結に付府民一般衷心の祝意を表する爲祝賀會舉行致度候間御贊同の上至急御申込被下度右謹告仕候

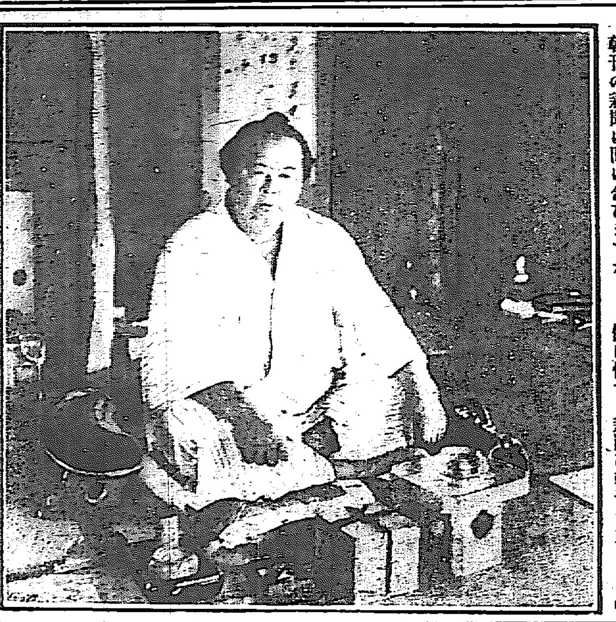
會場 朝鮮ホテル
日時 七月廿日午後七時
會費 金貳圓五拾錢（當日御持參のこと）
申込所 京城府廳庶務係
申込期限 七月十九日正午限

大正五年七月十六日
日露協約祝賀會發起人（いろは順）
石塚英藏　原田金之祐　子爵 趙重應　小幡虎太郎　金谷充　吉原三郎　松永武吉　小松綠　阿部充家　勝田主計

キッド革の 大王 山羊印 センチユリーキッド
各國皮革問屋に於て販賣致居候
製造元 米國費府マクニリープライス社
東洋總代理店 合名會社 野崎商店
本店 橫濱市相生町二丁目
支店 東京日本橋區本石町三丁目
出張所 大阪市西區北堀江通一丁目

◎秋蒔種子新荷着
美濃早生大根 一升に付 九十錢
練馬大根 同 八十錢
宮重大根 同 八十錢
聖護院大根 同 九十錢
方領大根 同 八十錢
聖護院蕪 同 八十五錢
近江蕪 同 八十錢
天王寺蕪 同 八十錢
千筋京菜 同 八十錢
壬生菜 同 八十錢
朝鮮白菜 同 一圓五十錢
開城白菜 同 二圓廿錢
芝罘白菜 一合に付 五十五錢
其他いろ／＼
營業案內御申越次第進呈
京城旭町二丁目 三輪種苗店

古錢 いろは別古錢價格表 定價金廿錢 送料貳錢 圖六百餘種插入
發行元 大阪松屋町博物北 家村書店



□目を細くした西の海『どうです銀杯が寫りますか……朝刊の新聞に間に合ひますかしら、俺は何でも新聞は朝刊が好だ……』

●腸窒扶斯

◇何うして豫防するか◇ 隈部警務部長談

次は食物の事であるが野菜類などは餘程注意をせねばならぬ殊に京城では朝鮮人が賣歩く大根菜葉の類は不潔なる小川又は泥溝で洗つてくるのである見た處は大變に白く奇麗なようであるが事實は誠に危險至極である是等は買つてから清水にて充分に洗ひ又は熟煮して用いて貰ひたいそれから未熟腐敗の果實淸凉飲料水氷雪等の事であるが之は

◇其の物に病菌 を含んで居る譯ではないが胃腸の弱い人がそんなものを飲食すると胃腸を害して下痢を催し傳染の素因を作ることになる一體人の胃腸は病菌に抵抗する働きが備はつて居るから若し菌が口から這入ても胃腸の健全なものは發病せぬで濟むことがある之に反して胃腸が弱いとか其他胃腸に

◇多少の缺點が あれば直に劇烈に發病することになる即ち體質により發病するものと發病せぬものとあつて醫師の方で感受力が弱いとか強いとか云ふのはこれである由來朝鮮人には腸チブスのみならず總ての病氣が少なく現在の腸チブスは南大門附近より本町通兩側にある

◇内地人居住地 に多ひ之に反して鍾路警察署管内の方は極めて少數であるが之は朝鮮人の體質が永く此地の風土季候に慣れて居る關係もあろうが一體に胃腸が健全であつて即ち抵抗力が強く感受性が薄いのであろうと思はれるそれに朝鮮人は

◇日常蒜や蕃椒 の如き辛辣なるものを食ふて居るが之れが大に手傳つて居ると思ふ節て或る專門家に聞いた事があるが蒜や蕃椒は殺菌の効はないが確かに細菌の發育蕃殖を妨げ食物の腐敗醱酵を防止する力があると云ふ事であるそれから内地人は好んで刺身を食ふ習慣があるが之が又病原となることが多い樣である現に

◇軍隊では夏期 には之を殆んど禁食品として居る位である倘又蠅の事であるが之れは詳しく述べずとも蠅が傳染病の媒介をなす處の恐るべき害物であると云ふことは皆人の知つて居る處であるから極力之を驅除して以て其の危害を除く事にして貰いたい。以上要するに腸チブスは病原から傳染の徑路

◇發病の誘因等 已に明かに分つて居るものであるから前に述べた處により豫防に注意すれば決して心配はない倘それよりも第一の積極的豫防法としては己れの胃腸を健全にして抵抗力を養ふ事が必要であると思ふ城壁を堅固にして置けば如何なる強敵が襲ふてきても恐るゝ事はない而して以上の事柄は多くの家庭にて飲食物の取扱をする所の屋男或は下女等に心得しめ又之が實行を嚴重に監督することを希望するのである(完)

●汽車より飛下りた大賊

本月九日夜江原道春川邑内柱二郡皆記方へ忍び入り洋服時計萬年筆其他數點價格百五十餘圓のものを竊取し其の足にて小學校を襲ひ約十餘圓の雜品を竊み逃走したる犯人あり春川警察署に於ては搜索の結果犯人は京城方面へ逃走したる形跡を突き止め南刑事時を移さず追跡し十二日夜金谷附近の酒幕に潛伏中難なく逮捕し張致したるが此者は福岡縣生れ力丸安雄(三一)と云ふ強竊盜前科四犯の曲者にして本年六月新義州支廳に於て懲役八年の宣告を受け平壤監獄へ押送途中巡査の隙を窺ひ汽車の窓より逃走し其後平安黄海京畿道を荒し廻り被害高約二千圓以上あり猶餘罪ある見込にて目下嚴重取調中也(仁川)

●感心な鮮少年

表彰金を海軍省へ獻納

京城府第一公立普通學校生徒文用鎬(一三)は昨年十二月十九日大同江の大門渡にて遊戯中龜裂せる氷の中に陷り溺死せんとする兒童金可馬外一名を危險を冐して救助したる廉により總督府警務總長は表彰狀と共に金五圓を與へられたるが同人の父兄は此金子を東鄕元帥を經て帝國軍艦建造費に獻納せんことを同小學校長に依頼し校長宮本作之丞氏は其旨を共に閣下御名義にて右獻金希望通り何にか適附せりとの端書にても賜はり閣下の御武名を慕ふ本人は永く家内重寶と致すへしとの書狀に表彰狀寫を添へて東鄕元帥に送附し來れる旨海軍省にて發表せり(東京)

●強盜に斬らる

慶南東萊郡北面仙里飲食店成一辰方へ去十三日夜深更二十二三歳位の所謂浮浪者體の強盜一名短刀を刈込みて一見一處を布團にて押へ附けて金を要し成一辰の所在を尋ねたる所別房にありと答へたれば強盜が行かんとするや成一辰が兩手にて南足を挽ひたれば不意を喰つて倒るゝを取押へんとして大爭鬪を始め強盜は小刀を取り出し成一辰に數箇所の輕傷を負けしめ何處ともなく一物をも得ずして逃走せりと

●富士の大降雪

富士山麓一帶は十三日朝より俄に寒氣を催し終日雨天なりしが六合目派出所より御殿場への通報に據れば十五日午前十時頃大降雪あり八合目以上は白皚々たりと(東京)

□寫眞道樂の西の海

▽この三組は元日の屠蘇から△

▽大欠伸を梅關からパチリ△

元來力士の旅館といへば種々雜多のものを取散らかしてあるのが通例だのに案外にこれは又取片付いた凉しい部室の眞中に大胡坐を組んだ横綱西の海は

◇あの細い眼◇ を更に細くしてニコ〱と語り出す『今日場所で御披露した如に京城の鹿兒島縣人會から新んな立派な三組銀盃を貰ひました、これは大正六年の一月一日までこうして仕舞つて置いて元日の屠蘇から始めやうと思つて居ります、ごらんなさい中の模樣は

◇丸に十の字◇ で島津公の紋所に因んだものです』と大變嬉がつて云つて居る『俺は寫眞が好きでしたが今度は遂々機械を忘れて來て終つたのです、取寄せやうと思ふけれど、稅關や何かが面倒だそうだから止めて居るのです、寫眞を寫すも好きだが人に寫して貰ふのも大好きです、ずゐぶん

◇いろんな風◇ もして寫したが去年米國へ巡業に行つた時の事でした恰度桑港で八月卅日の天長節祝賀の催があつて俺等の一行も日本人會から桑港博覧會までの花自動車の行列に加はりました大變賑やかでね彼方の人達が色紙ノ撒き花をドン〱投げ付けて呉れたんです自動車が徐ろ〱と進行するので俺は眠くなつて

◇大きな欠伸◇ を一つやると其處を恰度前の自動車から梅ケ谷關がパチリつとやつたので後でその寫眞を見るとドウも大變なものが出來た何しろ口の大きく寫つた事には自分ながら驚き入つて終つた其邊の大きな家の窓なんぞよりもまだ大きいのでこれがほんとうに開いた口が閉らぬと云ふ事だらうと思ひました』と洒落て『朝鮮へはこれで三度來ますが來る度、來る度に

◇非常に發展◇ して居るのには驚きます、それでもまだ〱内地に比べると住む處も尠くなやいうで耕地になる處なども澤山あるしすね』と視察談に身を入れる『花月で皆樣がお待ちだそうです』と女中が取次で來る『そう〱六時半が過ぎると罰金だつけ、オイどうせ罰金ものだがなるたけ輕いやうになるだけ早く行くと云といて呉れ』

●三菱高崎炭坑火災

三菱高崎炭坑の一部は十六日火災を起し死者二名負傷者數名を出せりとの報あり(大阪特電)

●長壽論者逝く

長壽論者メチニコフ氏は七十二歳の高齢にて逝去せる旨紐育より入電ありたり(大阪特電)

●落雷

平南成川郡崇仁面飯仁里にては六月三十日午前三時雨なきに雷鳴あり徐元吉(一七)方の屋根に落雷して天井三尺方形を貫ぬき柱四本を折り壁の一部を破壞したるが家族五人は一室に就寢し居たるも幸にして負傷なかりしと

●鮮婦人の轢死

去る十一日平壤發南大門行の六四列車が午前八時二分沈村沙里院間を進行中線路に飛び込みたる鮮婦人あり汽鑵車に頭部を粉碎し右足を切斷されて即死せるが同人は黄海道沙里院面一里洞二統九戸金興鉉妻娘兪(四)と判明せり

●壁を破つて放火

全南務安郡石津面南川里統戸不詳張大鉉(三)は嫉妬の事から同郡同村谷面三統五戸朴春日(二)に怨みを抱き枠を以て同人方の壁を突破り釜を破壞したる上軒下に放火して同人方を燒き拂ひ其儘現場を逃走せるが間もなく川里徐背良方に潜伏せる所を三郷駐在所森巡査に逮捕され十二日檢事局に送らる

●侵入して捕はる

京城梨花洞梁漢龍(二)は七日午前二時頃孝悌洞崔楊堤方の裏手に置きありたる大甕の上に小甕二個を載せて踏み臺となして土塀を乗り越へたる際甕三個を破壞して邸內に侵入し家人等に取押へられ鍾路署に引渡されたり

●死人の逆戻り

京城都染洞勞働者方錫祚(三)は十五日午後十時頃妻李姓女の連子金立紛(二)が腹膜炎にて死亡したるを同夜十二時頃埋葬認許證を受けず密かに金順先、尹完瑞の兩名に依頼して屍體を高陽郡思平面の共同墓地に向け運搬中を附近交番の巡査に發見せられ屍體は逆戻りとなる

●學生の詐欺

全北全州完山町李才三次男李元根(二)は全州簡易工業學校の生徒なるが同人は去月五日張南重、張慶模の兩人を語らひ蠶業講習所員の如く裝ひ南原の紙商人金石斗なる者を言葉巧みに欺き同人より朝鮮紙六千枚を騙取し蠶業講習所名義にて全州郡廳宛金額四十五圓の領收證を僞造し之れを同人に交附したる事發覺其筋の手に捕へられ取調べの上私書僞造行使詐欺罪として公判に附せらる

東京大相撲

▽湧き返る人氣

●十一時は千前中に滿員●

十七日の四日目は開場早々好天氣となれるより、人氣は前日にも増して午前中より詰めかけたるが團體としては憲兵隊員及其家族の七十人理髪業組合の百名、在郷軍人會の五十人、西山台の百人等にして午前中既に十間は滿員の盛況を呈したり

▼朝稽古

弄れる出羽ケ嶽 兩國大門の元氣

四日目の朝の稽古には珍らしく綾川が姿を見せたのが先づ大いに彩を放つた。宇都宮も早くから出て小相撲に稽古をつける、對馬洋、栃木山、兩國、源氏山、九州山等の幕内連中から十兩連中幕下まで出揃つて盛んな稽古が始まる左迄の

▽切開部に繃帶 をした逆鉾は負傷も大分好いと見ねて元氣よくつけたが、あの筋骨隆起して岩の樣に固さうな體は大兵の九州と相撲つて左程苦しさうでもない。例の輕口を持つて出羽ケ嶽が青い體をノソリ〱と運んで來ると見物の眼は一齊にそそがれる。土俵に上ると待ち構へた見物には横綱でも出た樣にワアツと喝采する、六尺三寸餘の對馬洋と搗れ〱に立つと、人の惡い九州山が殊更背の低い

▽五尺二寸餘の 小常陸が肢がるのを無理に引張り出してその中に立たせる、何の事はない電信柱の間にレールの枕木を立て並べた樣なので見物はどつと笑ふ、力士連中も笑ふ。格好の惡い仕切をしながらニタリ〱笑ふので『野郎笑ふな』、それ押せ押せ、其處其處』などと皆が口々を入れる。揉く揉み合つて對馬が土俵際で態と負けると『それ敗けた、豪い豪い』と皆が囃す本人益々ニタ〱

▼崩れる樣に笑ふ。小常陸が向つて烈しく張つてゆくと少し本氣になつて、ノソ〱と張り返へす、その傍から宇都宮、九州山の茶目黨が『小常陸關の眼を突け、顏を叩け』と惡い事を言ふ、そんな事をする間にも仕切を敎へる、立合ひの呼吸を敎へる、中々世話の燒る事だ兩國が出たり宇都宮が散々引張り廻したりおもちやの樣にして可愛がつたが、近頃では大分相撲の味も解つて來たらしい。斯うして順調に進んでゆく彼の將來は恐るべきものがあらう

大相撲スケツチ―支度部屋

▽兩國と大門岩 は四番中し合ったが同型の力士で元氣同志、最初大門岩が押出して勝、二番目突勝で大門岩が敗、三番目出し投で兩國の勝、四番目突出しで大門の勝で勝負は五分だが遉がに兩國には綽々たる餘裕があつてまだ〱兩國の敵では無いと思はれた、今度は小常陸に四海波が申合ふ、最初は小常陸注文をつけて突き出して勝、二番目は四海波土俵際に押されながら危ふく打棄つて同體に流れ三番目は

▽小常の力を拔 く所を後ろから送り出して勝、それから九州山、兩國、四海波、稻葉嶽、大門岩等が代る代る小相撲連に胸を貸して然しい稽古をつけた。西の海に大錦は市中見物にでも出掛けたと見ねて遂ひに姿を見せなかつた、十時半から取組に入る。

相撲餘錄

△本社の好み相撲 四日本社番外好み相撲は駒泉に大門岩なるが駒泉は故駒ケ嶽の遺れ記念の有望力士にして當地には勝負筋も多く大門岩は出羽の部屋の俊才にして有望力士、共に春場所には幕を揃へて入幕すべき元氣同志にして同型の力士たり、本取組は五日目番外中に於ける最も興味ある好取組なるべし

△五日目の總見 十八日五日目は總督府給仕小使連中の百名、市内各學校職員の百名等にして三日目の景氣に煽られたる人氣は凄ましき程なり

△一行の仁川乘込 大相撲一行は十八日五日目千秋樂後同日午後七時十分南大門發の列車にて仁川に乘込み十九日初日にて開演すべし

▼五日目の取組

兒島洋(紀の川) 大門岩(成瀨山)
綾鶴(朝日山) 常の花(羽州山)
一港(龍ケ崎)(稻葉嶽)(梅川)
駒泉(男島)(四海波)(朝線)
宮城山(江戸富士)(紫雲龍)(宇都宮)
岩木山(小常陸)(逆鉾)(釋迦嶽)
源氏山 栃木山
九州山 兩國
綾川 西の海
對馬洋 大錦
本社番外好み
駒泉
大門岩

□相撲川柳(三日目) 是空
ころげるは能でござると常陸山
能代川大港までつき出だし
腹やぐら敵はクスリ下を向き

●馬賊小頭就縛

同賊の頭目山海團は食事中なるを探知し逮捕に向ひしに同賊は山海團の一小頭目劉老[illegible]りたるに賊は傍に在りし衣類に手を掛くるよと見る間に更に第二の自働[illegible]嗣を唱へし大賊跨海の一小頭目劉老[illegible]疙疸とて多少賊徒に名を知られたる[illegible]

●元山地方出水

元山地方に[illegible]山里所謂元山鮮人町は一體に地面低く毎年暴雨に際し浸水を免れざる所[illegible]

天氣 曇一時晴 ▲七月十八日[illegible]

日出 五時二十六分 日沒 七時五十[illegible]分

滿潮 仁川 午前七時二十四分 午後七時四十[illegible]分

演藝案内

黄金館 電話二八五二(階上)二六三七(階下) 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 [illegible]

浪花館 明治町 電話一六〇番 東京落語三遊亭遊三一行來る [illegible]

御成座 壽町 電話二九一 [illegible]

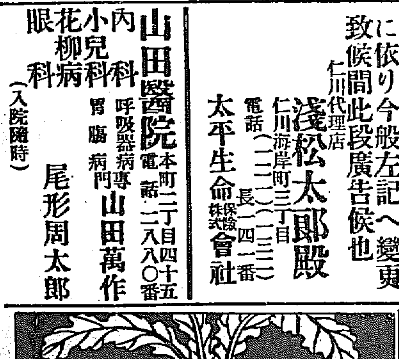
大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

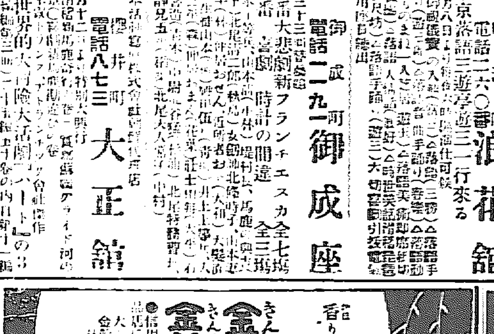
代理店變更廣告
弊社舊來の仁川代理店(仁川宮町八田利三郎殿)を都合に依り今般左記へ變更致候間此段廣告候也
仁川代理店 仁川海岸町三丁目 淺松太郎殿 電話(二二二)(長一四一番)
太平生命保險株式會社

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番
内科 小兒科 花柳病 眼科
呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作
尾形周太郎 (入院隨時)

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

開店御披露
東京第二中央亭 主人敬白
龍山元町二本願寺前 キリンビヤホール





ねびゑ
の苦しさは格別である ハカリ印のヘブリン丸がねびゑを治する偉効あるは滿天下の[illegible]に依りて明かである
各藥店にあり

…て其頭目は自動拳銃二挺を所持し巧みに横行し居れるが警務署の刑事は…れば刑事は身を躱はし更に右手を押へ賊を組伏せ漸く第一の拳銃を奪取れ劉…抗せしも遂に逮捕せり賊は兗州府生れ…（三）と云ひ海龍興京附近に…即日鐵嶺に押送せり爾來被害の跡を絶ち支那人は大に安心せり（鐵嶺）

…官舍も亦全部浸水するに至れり又元…惡…山手に避難せり安邊鐵道…に湖水と化し…

●連絡船上陸客　十六日朝入港新羅丸二三等客

…十六日夜入港高麗丸二三等…（二等）井野孫七郎、…（二等）森鐵太郎、小野哉兵、川又忠治、…一、坂地俊一、鈴木房太郎、外人一名、…

●戰爭に賑ふ　哈爾賓の街

□黑龍江の砂金□

□哈爾賓の此の頃は戰爭のお蔭で非常に繁昌して居る、最近日本の郵便局なども設けられる筈で邦人の人口も昨年の二倍に增加した

□從來バルチック海方面から供給された歐洲雜貨品は戰爭の爲めに輸入の途なく今では總て西比利亞線から運ばれる爲め莫斯科方面の商人は深く哈爾賓に集まつて居る

□戰後も果して恁麽景氣が續くか何うか解らぬが將來とても莫斯科以南の商權を日本で占めるのは左したる困難でもなからう

□朝鮮銀行支店は七月十五日から營業を始めた

□哈爾賓には支那馬賊も居るがまた露西亞馬賊も居る

□近頃黑龍江沿岸の夥しい砂金が持ち出されつゝあるが露人なぞは三十匁五十匁と腰に著つて街に來る（西比利亞よりの小泉氏談）

●避暑客に賑ふ青島

△靑島の夏は避暑客で大賑ひ昨今のランドホテルもストランドホテルも外人客で滿員の盛況

△二日には更に上海から入港の獨乙丸で約六十餘名の英米人が來ました

△商埠は夛少商館が避暑客に防殺に努め海水浴場の設備を完全にした爲め從來から東洋有數の避暑地として呼ばれて居たが今年は非常に澤山のお客が來ました

●商校生の滿鮮旅行

△多年實業家の卵を出しつゝある名古屋甲種商業學校にては今回朝鮮及び滿洲各地の修學旅行を催す筈

△一行は本科三年生の十三名と引率教師二名の總計十五名、一人前の旅費が五十五圓で十五日を學校から補助する

△一行の日程は來る廿日の午後十一時、廿四日大邱著、京城、平壤、安東縣から京城に入る豫定

●京城交換手募集

京城郵便局にては男子交換手補充の爲め交換手見習若干名を募集することとなりました、普通小學校卒業以上にて年齡十三歲以上廿五歲以下の女子なれば學力、身體完全、言語明晰、…なるものより試驗の上採用されます、見習中は日給廿五錢の手當を給し約六箇月の諸技術修得の上交換手に採用せらるれば日給卅錢を貰ひます、試驗は八月中旬、志願者は履歷書…

●慈善音樂會

京城日本組合教會の婦人會にては今回國內樂界の明星たる青木兒玉氏を聘し來る廿四日（月曜日）の午後八時より慈善音樂會を開催す其番組左の如し

△源の千鳥簡唄（青木兒君）△熊野尺八合奏（北古賀、粗井、村上夫人、岡田夫人）△筑前琵琶（御水護、荒牧綠鳳君）△かつけいぐら見獨唱（青木兒君）△かへり路獨唱（同君）休憩△アリア英語獨唱（青木兒君）△都之春尺八合奏（北古賀、粗井、村上夫人、岡田夫人）△筑前琵琶（川中島、荒牧綠鳳君）△犬と猫かにさたまご獨唱（青木兒君）△俊寬獨唱（青木兒君）

●警察後援家族獻金

朝鮮に於ける警察署長及び巡査家族の人々は各申合せ今回明治神宮奉獻金として金九十六圓七十六錢を獻金せり獻金者の中には古谷…夫人を始め鮮人家族百四十三名なりと

●仁川婦人の獻金

愛國婦人會仁川委員部にては久水夫人其他各役員の盡力に依り婦人子供の獻金今日までに二千二百八十人を以て獻金總額三百二十四圓七十九錢に達せり

●女高師生の平壤見學

東京女子高等師範學校視察團一行は十八日午前九時十分南大門發列車にて平壤に向ひ同日午後五時十分平壤著同地の名勝舊蹟及び各學校を視察の上十九日午後三時二十分平壤發列車にて安東縣に向ふ筈なり（平壤）

富豪久原房之助氏の母堂

□慈善と女子教育の爲めに盡す□

◇現代日本に於ける屈指の大富豪久原房之助氏の母堂文子刀自は去る十三日七十四歲の高齡を以て逝去されました

◇久原房之助氏が立派な人格の人たることは誰れも知るところ殊に母堂に孝行であつたことは洵に感ずべきでありますがまた斯る人格の人の母たりし文子刀自は幸に賢な人であつたと云はなければなりません

◇刀自は長州萩の熊谷町田村家に生れ故久原庄三郎氏に嫁し三男一女を擧げました當主房之助氏は實に其の三男に當ります

◇刀自は平素厚く佛敎に歸依して西本願寺の爲めに盡力されましたこのことは久原房之助氏が大谷光瑞伯の爲めにいろ〳〵な骨折りを厭はず盡された原因であらうと思はれます

◇刀自は孝行息子の房之助氏と共に去る四十五年郷里萩町に歸り種々故郷の爲めに盡されました

◇殊に萩町の赤貧者一同に蚊帳を贈り七十歲以上の高齡者百餘名を志津帳公園に招待して徑三寸の銀盃を寄贈されたこともあります

◇また阿武郡立實科高等女學校設立の爲めには金三千圓を寄附し萩町高等女學校の爲めには金三萬圓を贈られました

◇猶ほまた萩町の各小學校神社佛閣には一萬圓以上の基本金を贈るなど常に慈善と女子敎育に盡くされた人であります

●日の出講堂解放

日の出小學校にては今夏暑中休暇中同校日高の爲めに校內大講堂を開放し各種の遊戲具等を備へて自由に兒童に遊戲せしめ適宜多數の兒童の集りたる際には職員のお監督をなし試む可しと

…に遞信部內に判任官以上の…を經たる…されればなりません

●女高師生歡迎會

入京中の東京女子高等師範學校視察團一行十八名の歡迎會は京城に在る同校出身者を以て組織せる櫻蔭會京城支部にて十七日午後五時より開催、會場は京城女子高等普通學校にて總督府學務局長並びに小田課長の出席ありて盛會なりき

□新任駐日公使の家庭　公使章宗祥氏は我が帝大出の法學士、夫人も亦下田歌子女史の薫陶を受けた實踐女學校出身の才媛、お二人共に日本語が巧みで日常の生活も日本的です、夫人はまた北京の政界外交界に名聲嘖々たるお方です

婦人界消息

▲鈴木とみ子（京城高女學校教諭）廿一日內地へ向け出發歸省

▲大池ふさ子（京城高女教諭）同上

▲竹村鹿野（女教諭）同上

▲島村さち子（京城南山學校教諭）入院中の處十六日午後六時死去せられました、葬儀は途中の行列を略して大和町の…にて執行されます

◎采澤渡部兩先生　京城高等女學校教諭采澤隆敬先生及び渡部啓次郎先生は本月中旬の…大學に於て開催さるべき教育講習會に列席されます采澤先生は教育衛生學、渡部先生は假名の研究の講習

神社と教會とお寺

○日本基督教會（長谷川町）廿日木曜日午後八時半より祈禱會

○曹洞宗別院（若草町）十七日午後八時半より大般若祈禱、十八日午後八時半より御詠歌

○龍山西本願寺（元町二丁目）十七日午後八時より明如上人御逮夜執行

○西本願寺（若草町）十七日午後九時より月…（三浦部學中）御逮夜說敎（海原開敎師）

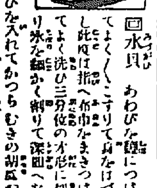
○京城神社（南山公園）十七日午前八時より月次祭ありたり

━△會いろ〳〵▽━

□庭球大會　日鮮電氣と俊成クラブの庭球戰は來る廿二日の日曜俊成クラブコートにて開催

□野球大會　京城府廳クラブの野球團は來る廿三日の日曜を期し鮮銀野球部と合戰の筈

たいどころ　その日〳〵



回水貝　あはびを鹽につけてよく〳〵こすりて身をはげし此度は指へ布巾をまきつけてよく洗ひ三分位の才形に切り氷を細かく割りて深皿へならべ其上にあはびを入れてかつらむきの胡瓜や色のよき海苔をそへたるを入れて上よりうすき…をかけて出す之はいよ〳〵食する時に庖丁すべし（青木はつ子）

番茶のあと

平北の慈城厚昌郡地方では盜難に罹つて犯人不明の時は猫や鷄を虐め殺して盜人を呪ふ風習がある▲猫はこれを溫突の釜中に入れて下から水を沸かして煮殺すが其の間盜人も亦同樣の苦しみに陷るといふので誰れでも大に怖れて居る▲また鷄は村の各戶より少量の油を持寄り脚の筋を拔きとりて殺すのであるがこれも亦盜人の脚が曲り縮むといふ呪咀だ相な

宮本武藏

第百二回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

宮本此時に「武「イヤ其言葉には僞りなしさすれば今日只今此場に臨んで其方が改心したればとて此儘其方の首を申受ける譯には相成らん、手向ひを致さぬ者を切るは死人を切るも同然、宮本武藏今日まで永々苦勞をした效がない、潮に其方改悟いたしになれば常に勝負の上潔よく命を捨てるが宜しいから、死人を切る刀は宮本所持いたさん「岸「恐入りました、然らば武士の形式、一二手及ばず合せませうが決して手前眞劍勝負をする氣はござりません、どうぞ老人に骨を折らせず二打三打にして勝負をお擧げ下さるやう「武「宜し、兎も角も勝負いたせ「岸「御免といつて岸柳立上り、四尺餘の女龍丸と名付けたる肥前忠吉の一刀を引拔いて大上段に振冠つた、武藏正名も一足退がつて腰に佩びたる右馬允則國の一刀スラリと拔放ち、中段に付けてジリ〳〵と詰め寄つて隙を定めて岸柳の樣子を見た、岸柳は大上段に振上げて宮本をウムと睨んで突立つて居る、何思ひけん宮本武藏「武「待てツ岸柳「岸「ハツ」一刀をチャリンと鞘に納め宮本先生踵を廻らして濱邊へ戻つて來た諸に船頭が小船を止めて見物して居ります「武「船頭〳〵「船「ヘエ「武「その擢を一本所望したい「船「ヘエ擢をどうなさいますので「武「何んでも宜いから此方へ呉れ」と船頭に所望して貰つた一本の擢、先が擢木になつて居りますのを小刀を以つて切拂ひ、之れを持つて、ツヽツと其場へ進み、「武「サア岸柳來い」と身構へた擢は長サは八尺餘り、深山櫂を以つて造つたる太いもの、其れ〔…〕潮に浸みて…造つたる…大なもの…其の擢を持つて武藏が進んだから見物驚ろいた「○「何んでげせう宮本先生の持つて來たのは「△「擢でげすね「○「擢をどうするんで「△「アレは其の岸柳が強くつて叶はない時に船を漕いで逃出さうといふつもりでげせう「△「そんな事はない、何しろ不思議な事をする、御船の中では右近將監忠實侯を初め家老一同、妙な事をすると思つて見詰めて居ります、これは宮本深き考へあつての事、何故となれば岸柳が口には改心をしたといふが其實仲々改心をするやうな人間ではない、關口彌太郎、吉岡兼房を初め岸柳は卑怯未練な事をする奴だから御用心なさい、油斷して敗れを取つてはならぬといふことを度々申して居る、老年ながら頗る技倆、ヌメ〳〵首を延べて打たれる氣支ひはない、今振上げた兩の腕に白の手甲を當て居るがどうも下に鎖帷子を著て居るらしい、額に白布の汗止の鉢卷をして居るが下に鉢金を當てゝ居るやうに思ふ、油斷して側へ近付く所を一打ちに拂はうといふ結構、女龍丸といふ刀は四尺有餘の寸延、足を薙拂はれたらそれまで、之れは油斷がならんと考へましたから、故意と擢を以つて勝負をしたので、之れは武藏の用意周到なる所、今以て武藝熱心の人々が賞贊するのであります、岸柳も擢を付けられて面喰らつた、眞劍勝負は度々したが擢の勝負といふのはしたことがない、妙な事をすると思つて大上段に振上げた刀を其儘にしてヤアエイツと氣合を懸けて居る、宮本が前へツヽヽツと進むと岸柳が後ろへツヽヽツと退がる岸柳が進んで來ると宮本が後ろへ退がる、斯くすること半時餘り、岸柳焦つて踏込まんとすれども何分八尺の擢が胸元へ來て居るから飛込めないヤアヤアエイツ「ヤアエイツと互ひに聲を懸け合つて居る、其中に岸柳身體疲勞して來た、俊成卿の歌にも「澤に生ふる若菜ならねど徒らに、年を摘むにも袖は濡れけり」年を老ると氣ばかり強くつて身體の方が利かなくなる目は霞む耳は遠くなる、齒は脫けてしまふしまひには生てる人だか死んでる人だか分りません年を老るのを忌むのは俊成卿ばかりでない皆んな忌む、けれども之ればかりは仕方がない岸柳も七十才に餘り心猛しといへども精力が續かぬ、次第〳〵に疲れて後へ〳〵と退がつて行く、宮本此時大喝一聲、八尺の擢を揮つて前へ進んだ。

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會際
安部醫院
電話四一九番

咽喉耳鼻科醫院
京城本町三丁目（寳座南隣）
醫學士　伊藤隆
電話二三七七番

齒科診療
京城南山町三巴城館通
電話二九二〇
齒科醫學士　橋本清次郎
橋本齒科醫院

七月十九日九星
舊六月二十日丁巳
本命一白北開先勝

▲一白●…▲二黑●…▲三碧●…▲四綠●…▲五黃●…▲六白●…▲七赤●…▲八白●…▲九紫●…[illegible]

商況

東京株式特電
十七日　前場寄付　大引
[illegible]

債券現物特電
十七日出來値段（前日との比較）
[illegible]

公債直取引
十七日出來値段（前日との比較）
[illegible]

深川在米特電
十五日　中　在高
[illegible]

東京期米特電
十七日前場　九月限　…
[illegible]

大阪株式特電
十七日前場　寄付　引値
[illegible]

大阪三品特電
十七日前場
[illegible]

大阪期米特電
十七日前場
[illegible]

下關期米特電
十七日前場
[illegible]

雜報

●輸入皮吏に暴騰
[illegible]

高傳へ…キット一十錢…更に五圓高　米國象皮
羊皮…一擧二割…以上の突飛…昨今二十五錢處
[illegible]

●新眞綿は良好
十割高　戰前に比し
[illegible]

●新眞綿は繭質尤も良好…品質低下
[illegible]

●砂糖弗々廻著
[illegible]

●氷價依然安持合
[illegible]

●生果漸く買進む
[illegible]

下關相場
[illegible]

京城正米
[illegible]

南大門の廻穀
十六日分　十七日分
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

釜山市場　十五日
▲正米（見送り）…
[illegible]

▲續々入込む正米の買物　逆送
[illegible]

▲米界の關ケ原
千九百石十二圓四十錢にて部分解合成立
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
まるにち　仲買店
支配人　土居
電話二八二番・二八三番

生魚市場
[illegible]

仁川期米
▲十七日前場
六錢安の入電二節八十五錢と小安き移…大阪六圓八十一錢と尙安移…阪止八十八錢と高入電
▲十七日前場…
[illegible]

十二圓八十錢到底…停の餘地…行…朝鮮米界に於ける强弱の關ケ原…大受渡…此大石數の蒐集…硬派は能く受米を敢行…只實力の如何に依…

市場雰聞
▲依然强硬
[illegible]

▲尙小相場乎
目先侮り難き形勢
[illegible]

確實　迅速
仁川米豆取引所仲買人
（定期米値段案內…）
電話一六五番　六三〇番

▲賣方の警戒的見送
▲戾は買方の見送
▲臨時增證に付
▲其の一方違約者を出した場合の處分
▲增證徵收の必要
▲今一回の臨時
▲正米の近況
[illegible]

仁川米豆取引所

十七日の九月限

前場平均値段	
寄付	十一圓十一錢
止め値	十一圓十六錢
高値	十一圓十三錢
安値	十一圓十五錢
出來	三千六百石
一節	十一圓十三錢
二節	十一圓十三錢
三節	十一圓十三錢
四節	十一圓十四錢
五節	十一圓十六錢

賣買取組高
七月限　二萬二千五百石
八月限　五萬二千五百石
九月限　四萬七千七百石
十月限　…

後場	前日と比較
七月限 …四	…
八月限 …七	安
九月限 …六	安
十月限 …七	…

北濱だより
▲當限の觀測
[illegible]

ライオン歯磨

「防腐、殺菌、収斂、清掃」の諸効を有する歯磨にして始めて歯牙衛生に有效なり、
ライオン歯磨は幾多の學者専門家の研究に成り
以上の諸効を完全に有するは勿論
價格廉にして一般國民衛生に適應す。

◎新古書籍◎雑誌◎高價讓受◎
◎會員募集◎廻讀會　松榮堂
◎京城本町一◎電話一三七八

◎日用品として　アルボース
石鹸の如く消毒力強烈にして且つ安全なる者　内外共に類例なし
不時の怪我には勿論家畜にも廣く利用すべし
應用の範圍頗る廣く一々數へ難し

文明は臭氣を耻づ

此故に
金鶏香水
ツル香水
あり

大阪　大崎組商會
東京　長瀬商會

打白粉

御園撫子

た顔に化粧水御園四季の花をた附けになり、乾き加減の時に御園撫子を斑なく輕く均て附くれば、淡泊した美しい薄化粧が出來ます。

白粉の着を良くする御園クレームを斑なく擦り込み、其上に御園撫子を均で附けますと之も亦至つて手輕て美しい薄化粧が出來ます。

かくし化粧料としての御園撫子は御外出の折、御園紙白粉と同様に汗や埃の爲のお化粧崩れを美しく直すに此上なき御便利な品です。

御園白粉本舗　伊東胡蝶園
丸見屋商店

(140)

第三版

京城日報

十八日朝刊（夕刊と合せて八頁）

支那政局大觀

京城日報

袁氏逝去後の支那政局は、一[illegible]統一すべからざる[illegible]の暗流は、南北の兩派を貫き、表面の綏靖は、寧ろ來るべき大政變を前示するものゝ如し。而して南方代表者王正廷、張繼等は、黎總統と會見し、親しく民國統一に就き協議する處あり、相方の意思疏通せりとなし、張繼等の歸滬したるは、聯絡一致南方との感情を、幾分か緩和せられたりとなすも、詳細に之を觀察すれば、其は表面上の事にして、裡面には未だ乍遽之を以て樂觀すべからざるものあるなり。

段氏はもと是れ一個の奸雄にして、南北の妥協に顧念するも、思ふに下其權を擁して、眞の實權を握らんとするは國務なり。而して段氏が北洋派の贊成し、舊約法復活に反對したる、袁より推察すれば、段氏も亦其の間に於ける、經驗に乏しき一個の軍政家に過ぎざるべしと云ふも、敢て過言ならざるを憶ふ。且つ段氏は軍人同德會の前身たる、秘密結社北洋同志會の巨頭なれば、此の際南北統一に誠意あるや、否は疑問なりとす。殊に張繼等と會見の際の如き、表面は頗る親睦の態度を以てせしも、裡面には不徹底の點ありて、所謂異端に對するの感ありたりと云ふに見るも然り。さらでだに聯立內閣員として、任命せられたる南方有力者唐紹儀、孫洪伊、胡漢民等の如き、何れも辭して動かざる者は、已に北方の議を聞き、北方情勢の報告に鑑み、更に辭任の意堅きものあるべし。されば段氏は北方軍人派の後援を得て、益々絕大の兵權を擁し、國務員の主班として、事實上民國の實權を掌握せる以上、唐、孫、張氏等の固辭の結果、內閣一部の改造は早晩行はるべく或は之が導火線となり、段國務を中心となす、意外なる政變の突發を見るやも知れずとは、強ち杞憂のみに止らず、一方の見解たるを許すを得べし。

然れば總統の苦衷にも拘らず、南北統一が、表面成立せしが如くにして、尙ほ未だ之が確然たる成立を見ず、南北相疾視して、動もすれば事態大ならんとするの觀あるは、即ち南方獨立諸省が、軍務院を撤廢せざるの一事に見るも、充分其間の消息を察するを得べし。文治派は別として、北方武斷派の中心たる馮國璋、張勳、倪嗣沖等が未だ統一の誠意を披瀝せず、現時局に對し曖昧なる態度を持し、動もすれば南方の主張に反對の氣勢を示すが故に、南方派の巨頭等は自然上容易に黎總統の命令に服せず、從つて其の政令も亦効力を有する能はざる有樣なりとす。殊に段氏を巨頭として、北方軍人派が發起したる全國軍人同德會は、却つて南方諸將を警備せしめ、爲に益々惡感を加へ、自ら其の警戒を嚴ならしむるに至り、加ふるに同德會の內容が、一種の秘密結社たる事實暴露するに及んで、南方軍人系が、南北統一に誠意なきを知ると共に、南方が妥協の成立を遲延せしむるに至れるが如し。されば南北實際の[illegible]を擾らんとせば、先づ南北軍人の意志の疏通を謀り、從來の如き兵力濫用を防止したるの後に在らざれば、根本的統一は成り難かるべし。傳ふる處に依れば、南方の主張は、南方軍事會議を上海に開き、獨立各省より委員を派遣し、其決議を待ちて、更に北京に全國軍事會議を開き南北統一の根本的解決をなさんとするにありと。此の目的にして貫徹せば、南方は護國軍を解散し、又た軍務院を取消すべければ、自然に問題は解決すべしとの意嚮を以て各獨立省將に通ぜしに、唐繼堯、陸榮廷等も異議なき旨を答へたりと云ふも、尙ほ眞僞の判斷は容易に下すべきに非ず、之れ軍人同德會に對する南方の巧妙なる戰術ならざるやの觀あるが故なれば也。

之を要するに目下の支那政界は、其の裡面に於て、危險なる一大黑潮の渦卷つゝあるは爭ふべからざる事實にして、未だ容易に平穩に歸するが如き事は、萬なかるべく特に注意を要する處なるべし。

城壁文學

小田省吾

（第六）京城都城の諸門

甲、都門總說

（三）甕城について　京城都城で珍らしいのは東大門の甕城である。是れは單なる裝飾ではない。此の甕城の石壁は二重になつて門の南側より門の前面に凸出し、內部より此の凸部に進み出で門を掩護し、又は城門に攻め寄せた敵の背面を攻撃せん爲めのものである。內地の城郭に武者溜といつて、普通城門の內側にあるものと能く似て居る。惜（一）此の甕城は最初から東大門のみにあつて他にはなかつたか（二）此の甕城は李朝の新發明であつて以前に其の類例はなかつたか。是は誰でも起す疑問と思ふから茲に一言して置きたいのである。東大門の甕城については、太祖實錄都城造築の條に、

東大門に幸して甕城の基を觀る。（六年正月二十五日）

興仁門に幸して甕城を觀、城を巡り東小門に至つて乃ち還る。（六年四月二十八日）

とある。是れは都城落成の翌年であつて、初めの行幸は甕城定礎の時、次の行幸は其の落成の時と認める。然るに世宗實錄都城修築の條、軍丁徵發の割合を定める所に、土城は每一尺に付十五名の割、石城は每一尺五名の割に割當てゝある。又各道の受持を定める所に、平安道の分として、『石城何尺土城何尺、西箭門甕城』と書いてある。是れ即ち東大門の外西箭門に甕城のあつたことを示すものであつて、尙同期の都城修築落成の所に今期の成績を揭げ、特に『西箭門を毀いで敦義門を置く』と記されてある。由て西箭門と稱するは敦義門（西大門）の前身で、最初此の門に甕城があつたが、世宗期修築の際門の撤廢と共に取除かれたるものと信ずる。此の外には甕城の記事は見當らぬ故、太祖期築造の最初の都城には東西の二門に甕城があつたので、今日に殘存する東大門甕城は其の一である。併し其の石壁は後世の改築に係る。

次に一言して置きたいのは甕城の起源よりも其の先例である。余は李朝太祖が都城を經營するに當り、甕城式を採用したことは別に怪しむに足らぬことゝ思ふ。何となれば彼が漢陽遷都の前まで住んで居つた開城高麗の都城は同じ甕城式であつたからである。其の證左は高麗仁宗の時、宋の使節（恰も宋末宣和年間なるにより宣和奉使と稱す。）路允迪が開城へ來た時、其の隨員たりし徐兢なるものが歸國した後に、實り見たことを載せた見聞錄、即ち高麗圖經である。同書中當時の都城の形勢、諸門の名稱構造等を詳記した中に、

『宣義門は即ち王城の正西門なり、（中略）其の正門二重（二層の）上に樓觀あり、合して甕城をなす云々』

とある。其の外諸門の制度相同じきこと、東方に偏在せし崇仁門は形勢略宣義の如くなるも獨り甕城のなかつたことなど記してあるのを以て見れば、此の時の都城諸門は多く甕城があつたものゝやうに思はれる。其の中現に遺址を見ることの出來るのは僅かに開城の南に殘存せる宣義門の甕城址であつて、聊か東大門の甕城と形は異つて居るが高麗圖經に記する所と合致し、八百十餘年前の記事を證明する唯一の史料である。（此項未完）

定價　一部金五錢　一ケ月金七十五錢（郵稅共）……

廣告料　五號活字一行金七拾錢……

印刷人　小川三之介　發行兼編輯人　奥田直毅

發行所　京城府太平通一丁目　合資會社京城日報社

電話番號　編輯局……營業局……

印度の水利事業
世界的農國は斯くして其根底を確立せり
坂出鳴海氏談

△印度の國土 は廣大なり、其の廣袤を他に求むれば全歐洲より露西亞を除けるに等しく、我が日本帝國の全土の十倍に相當す、而して其の人口三億一千五百萬と註せらる、之を我日本全土の人口に比すれば五倍を算し全世界に於ける總人口の五分一を占む。山は高し二萬九千尺、ヒマラヤの連峰は北方に亘りて、パミール西藏を隔し、河は長し一千八百哩、ガンヂス、インダスの流域は何れも廣大無限なる平原を構成して其の沖積層より成る沃土と強烈なる日光の直射とに相俟ち、竝に世界の大農國を現出す。諸草の生育は迅速にして名木珍花に富み、農産豐饒にして三毛作の地乏しからず、常夏の國、極樂の國と謂はるゝも亦宜なりと謂ふ可し

△今貿易の統計 を見るに年額三十億圓の前後を往來せるが、其の主たるものは農産物にして棉花、小麥、茶、阿片、麻、麻袋、珈琲、米、藍等何れも其產額三億乃至五億圓に達せざるものなく、又た家畜豐富にして牛、水牛、羊、山羊、馬、驢、駱駝を合し其の頭數二億二千八百萬頭を下らず、就中牛は體質頗る美事にして頭數亦他に冠たり。印度の寶庫は斯く廣大なり、加ふるに五千年來の文明あり、藝術あり、歷史あり、之れ多年印度が世界羨望の的たりし所以にして、彼のコロンブスが阿米利加發見も、バスコダガマが喜望峰の迂回も志を印度に抱きたりしは世人の熟知する所なるが、今日に在りては東印度會社を繼承して英國皇帝之に君臨せられ、總督府をデリーに設けて十四州を直轄し、更に其保護下に大小六百七十餘の藩王國を置けり。此藩王國は全土の約三割を占む。印度は各地とも地味概ね肥沃にして

△河川亦恰好 なるに拘らず五六月の交より八月に亘りて霖雨ます所謂モンスーンと稱して多陰多濕なるに反し八月以降は風向一變して忽ち乾燥季に入り、一滴の降雨だになきを以て、水利灌漑の便を得ざる地方に在りては年々隨所に旱害を來し、昔時は慘憺たる大饑饉相踵ぐの狀況にして、之れが解決は實に五千年來の大懸案たりき、然るに英國政府は之を解決して蒼生の塗炭を救ひ、更に進むで寶庫の秘鍵を掌握するをもつて印度統治の大眼目となし先づ此の廣汎なる國土に對して偉大なる鐵道網を張れり。不工事は僅々五十年間を過ぎざるも三千哩を算しゲージ五尺五寸の廣軌式鐵路には增富の搭載力を有せる快速力の列車を運轉せしめ、而も鐵路の周邊と聯絡して道路網も亦普及し坦々たる大道の延長實に三萬七千哩と稱せらる（未完）

貰の煙

■有り難う御座い

英國のある田舍の一商人はどうして永くお客の贔屓を自分の店に集めやうかと考へた末、一策を案じ出した。彼れは橫三吋半竪三吋の小さなカアドを拵へて、店の品を買つた客に必ず一枚づゝ品物に添へて渡した。カアドには次のやうな文句が印刷された。

有り難う御座います。――毎度御贔負に預かります事を感謝致します、若し御買求めの御品で御不滿のものでも御座いました場合にはどうぞ御返へし下さいまし。御取換へも致しますし又は代金の御拂戾しも致します。

そしてそのカアドの『有難う』の文句丈けは特に目につくやうに他の文句よりは大きく印刷してある。又カアドは見るからに氣持のよい體裁に拵へてある。此商人の嚙巧な計畫は美事に成功して、客は此のカアド一枚でさへその店を贔負にせずには居れない――と英國のある雜誌に書いてある。

日報俳壇
雉子郎選

夏雜

餘花咲く殘雪に西を塞ぐ庵　虚中子
雜草に狹まれる芝や餘花の庭　同
夏瘦の郷吏に負く里民かな　同
隣家の生業知らず金魚かな　同
垣に添ひて待つ出棺や若楓　田打夫
馬の仕度待つ茶屋裏の蘩かな　同
萎咲くや此庭出る洲の出鼻　同
夜振人に茄子煮て待つ妻心　同
若楓門扉空しく閉しけり　星村
沖を過る遠夕立や返し風　巨山
靑芒雨ついて走る後れ馬車　竹水
官服を脫げば先づ見る庭葵　九鼎
靑芒河心移りて荒れし堤　雉子郎

▲十七日後場（氣强し）　▲後場上伸す　▲部分解合　十七日の九月限

日本郵船　寶島米株　東京新株　大阪株式

十七日の九月限……

廣告

不動產競賣廣告
一京城府南大門通三丁目百八番地
一右地上建設
一棟瓦造參階建本家壹棟
建坪拾九坪九合五勺
右來ル二十四日競賣ニ附ス詳細ノ事項ハ京城華商總會ニ就キ照會アレ
競賣場所　京城華商總會

鑛業新報
創刊明治三十五年◎每月五日廿日發行
◎本邦鑛業專門新聞の權威にして記事の正確、報道の迅速、論評の穩健を以て多年斯界の信用を博す
◎有力の鑛業家、著名の學者技術家は本誌の誌友として每號有益なる評論、學說を寄せ斯界に貢獻す
◎今や千載一遇の福運に際會せる我鑛業界は多事又多望戰時及戰後の對策研究には須く本誌一讀を要す
◎定價郵稅共一部金拾八錢一ケ年金參圓六拾錢
東京麹町區見附町五ノ九　鑛業新報社

法學博士上杉愼吉先生新著
新刊
國體憲法及憲政
帝國憲法述義　第七版　上製　送料內地十二錢
帝國憲法綱領　菊判全一冊　定價金五十錢　送料六錢

法學博士上松崎先生著
訂正增補　農業と產業組合
增補六版出來　上製正價金壹圓八十錢
增訂最新財政學　上製正價金參圓
增訂改版經濟學要義　上製全一冊　金七十五錢　送料金八錢

東京神田表神保町　有斐閣發行　振替東京三七〇番

講談落語　娛樂世界
大革新の八月號
怪傑仁王太郎　松林伯知
松平又七郎……
仙石騷動……
小河內怪談……
幽靈旅館……
定價金二十二錢
鈴木書店

內科小兒科　幾野醫院　京城府龍山元町（憲兵隊側）　電話二〇四番

日本少年　八月號
■敵壘目がけて……陸軍大將　戶兵衛
■少年の危禍……
▲滑稽夏休み物語
▲懸賞變裝競べ
■大西鄕の最後……
■少年馬士……
■日光から足尾……
■少年海員……三津木春影
定價拾貳錢

少女の友　八月號
■露のいのち……長田幹彥
■腹痛み……
▲怪星の秘密……
▲華嚴の瀧……星野水裏
■縺れ合ふ笛……
■故鄕へ……菅野菊枝
■もぐら旅行……川端龍子
■日光から足尾……
定價拾貳錢
東京日本橋區本銀町　實業之日本社

新刊書御案內
改訂增補　農業と產業組合……松崎藏之助……一、五〇
南洋の產業……松尾音次郎……二、四〇
及其富源……
靑酸瓦斯燻蒸法……
化學實驗案內……
最新效率的商略……
幽靈探訪……
仇なさけ……
母と子……
獨逸富強論……
獨乙戰前の眞相……
日本と山水……
聽問集……
日蓮……
求むる心……
増鏡新釋……
小鳥の巢……
方丈記評釋……
新アラビヤンナイト……
休みの讀みもの……
新式作文上達法……
學生文範……
京城本町　大阪屋號書店

第九期決算報告
貸借對照表
平壤魚市場
……

女子成功の早道
就職しながら出世が出來る
女子の好伴侶……

○日本號と外相の寄書

日露協約と日英兩國の利益

石井外相よりロンドン、タイムスに宛て同紙日本號に掲載す可き一文を電報にて寄せ來れり外相は先づ戰爭に對する英國々民の勇氣と執着心の厚きを激賞し次で日本が共同目的の爲め一方ならず努力し居れる事を述べ且つ曰く日露協約は日本が英國との同盟及び英國に與へたる誓言に對し常に忠實なるべきを證明するに至る可く戰後に於て有り得可き國境利害の一致に付き思ひを致さんか有ゆる場合に於て日本と英國の新利益が常に一致し調和す可きを見出さるべし云々(倫敦電報)

○唐紹儀の暗中模索

唐紹儀氏は暗に總理たらん事を畫策しつゝあるが孫范兩氏等の就任は疑問となれり(北京電報)

○英軍奮鬪森林占領

目醒しき近衛騎兵隊の大活動

倫敦十五日午後十時五十分發電英軍總司令官ヘイグ將軍の報告に據れば獨軍第二戰線ボジエール、ジグソルモン地方に於て激戰行はれしが其結果英軍は更に非常の成功を收めバビンチンレヴランド北方にて獨軍の第三線を突破し二森林を奪取すると共にボジエール郊外迄到著するに至れり又我が軍は敵の頑强なる抵抗を排してロングヴエル東方のデリル森林全部を占領しファアリユウ森林(我が軍が敵の第三線を突破せし處)の假陣地に對する敵の逆襲に非常の損害を與へて撃退せり此の方面に於て近衛騎兵の一隊は敵の部隊を修殺せるが騎兵隊の活躍は千九百十四年以來之を以て嚆矢とす(東京特電)

○メッカ砲壘の降伏

カイロ來電に依ればメッカに於ける砲壘は全部降伏し將校二十八名無傷捕虜九十五名負傷捕虜十五名砲四門及び多數の軍需品を鹵獲せり同地が獨立を宣言して以來の戰利品を通計すれば野砲十門山砲十門機關砲十五門將校百名下士卒二千五百名官吏百五十名に達しメッカには最早土耳古人の隻影をも認めず(倫敦電報)

○露軍占領

露都來電公報に曰く露軍はベーバートを占領したり(紐育電報)

○唐紹儀の電照

岑春煊より六日附にて中央に電報來れるが内容は唐紹儀の外交總長就任は贊成なり軍務院は撤廢の準備中なれば速かに約法國會及び内閣の狀態につき詳細に報告あらん事を乞ふといふにあり(北京電報)

○寺内總督參内

寺内總督は十七日午前十時參内御座所に於て拜謁仰付られ所管要務並に重要事項に就き伏奏且つ御下問に對し奉答する所あり終つて皇后陛下の御機嫌を奉伺し退出せり(東京特電)

○大隈侯と上院議員

大隈侯は十四日侯爵に陞爵せられたるを以て貴族院令第三條に依り議員の位列を得たるに就き十七日の官報を以て公示さる(東京特電)

○下村中佐へ賜金

英國軍艦クキン、メーリーに便乘し北海に於て戰死したる下村中佐に對し十七日左の如く御下賜金ありたり(東京電報)

海軍中佐正六位勳五等功四級 下村忠助

大正四年戰役の功に依り金三千三百圓を賜ふ

○日置公使出發

日置公使は十六日午前北京出發同夜天津に一泊十七日午前湖南丸にて歸國の途に就けるが停車場には内外人の見送り盛んなりき(北京電報)

○奉天より

△水田計劃 鐵中驛は地勢低下……△銅貨鑄造 張奉天省長は本……

○不穩の重石鑛

慶北聞慶郡……坑夫入り込み居れるを以て其筋にて……(二十餘圓)を竊取し之を携へて竹筏……上群山府開福洞金鳳學の妻宋姓女を……あるより同一年三個月に處せられた……頁目)が落下し來りし爲め頭部に重……

○李王世子御避暑

李王世子殿下には十七日午前十時參内兩陛下に御對顔暑中の御機嫌を奉伺し十一時過ぎ御退出午後一時四十分東京驛發汽車にて三島の御別邸に御避暑あらせられたり(東京電報)

○醫學專門校長任命

愛知縣立醫學專門學校長熊谷幸之助氏辭任後々任校長に就き難問題惹起し缺員中の處十七日附を以て同校教諭醫學博士山崎新兵氏兼任を命ぜられたり(東京特電)

◎支那陸軍收束案

支那の大局統一後に於ける南北軍隊の收束方法は刻下の大問題なるが最近閣議に決定したる處に據れば已に解散を實行したる已招募未訓練の各軍隊を除きたる各省新增加の軍隊にして已に訓練を經、又實戰の經驗ある者は總て當分舊陸軍に併合編入して其省陸軍と爲し新舊の名稱を附して之を舊陸軍と區別して現狀を維持せしめ大局統一し新軍制の編成さると同時に更に其存廢を議する事とせり右は一應各者に通電し意見を徴して後實行の筈なりと(北京)

◎哈長通信連絡

東淸南線讓渡附帶條項

過般東淸鐵道南線の讓渡に附帶して日露通信聯絡の一項ある由にて彼我の間に議定せし方法と云ふを聞くに此迄哈爾賓には露國側の默認せし我が郵便局(長春局出張所)ありて一般郵便事務を司り其郵逓法は毎日長春哈爾賓兩方より郵便夫を派遣し其發郵便物は凡て之れを普通貨物の如く裝ふて東淸鐵道に搭載し同鐵道亦た之れを默許せしを今度は改めて我郵便局を哈爾賓に設け其輸逓も公然之れを爲す事とし又哈長間の電報は從來之れを支那局に附したる爲め非常の遲延となり時には東淸鐵道よりも遲著する事ありて一般の太た迷惑とする所なりしを今度は哈長間に特種の電報を交換し得る事となす可ければ此點は郵便の改良に比し更に利益多かる可しと(哈來)

◎間島食鹽密輸

間島地方は官鹽販賣なるを以て一帶水なるに係らず鮮地との食鹽價格に著しき懸隔あり爲めに沿江鮮民は從來より種々の手段を以て密輸を爲し來りしが近時南淸革命軍蜂起以來價著しく高騰して本春より支那百斤は銀相場にて七圓と云ふ從來の三倍に近き高價となりしより朝鮮人の密輸の盛んに行はれ最近稅關の發見處分したるも二百五十餘件に及びとしきは五六十頭の馱馬に積み陸續輸入し來る大袈裟なる密輸入を爲せるものもあり而して支那に於ては鹽の密輸入は極めて重罰にして之を發見せられたる時は現品運搬具全部を沒收したる上百斤以下は十倍百斤以上千斤迄は二十倍以上順次進增したる罰金を課せらるゝ事となり居れるより無智の鮮人が他より煽動されて密輸入を計り折角の資金を空しうし日糊に窮しつゝある者も尠からずと

◎海參の直輸出

著目す可き新傾向

▲海鼠の生產地 は江原道以北を第一とし釜山方面及び西海岸一帶之れに次ぎ其の品質亦此の順位にあり大正四年中の漁獲高は合計四十一萬五百二十貫此の價格二十三萬四千八百六十二圓にして其漁獲高には著しき消長なきも年々若干の增加を示し居れり海鼠は生の儘鮮內に供給さるゝものなきにあらざるも其は極めて少量にして殘餘は悉く海參となし殆んど其の全部を支那に輸出す支那人は之れに對する嗜好甚だ強烈にして補道補溫の効ありと稱し珍重措かず其の刺多くして色澤より形體大なるもの

▲最も高價を告げ 刺少なく色澤不良なるものとは價格に著しき相違あり然に朝鮮の海鼠は北海道產に及ばず上海方面にては長崎九州產と共に之れを花色參と唱へ後者の十番參に比して常に三四圓の減差を眴し昨今に於ては十番參百斤百圓內外を呼べるに對し花色參七八十圓の間を上下し居れり道は刺の多少に依る從鮮からざるも製法の改良亦與つて力あれば之れが從業者は此の點に留意し形體花辨の保存に努むることが肝要なる可し而して大正四年の輸出額は三十七萬五千五百五十二斤此の價格十四萬五千四百九十八圓を算し大正三年に比すれば一萬圓弱、大正二年に比すれば

▲二萬圓の增加 を示し居れるが之れ等は從來仁川港より芝罘上海に向け些少の輸出ありしも其の大部分は神戶、長崎に移入し更に之を支那に輸出するの狀況なりしが京元線の開通以來滿洲方面の注文續々現はれ來り今日にては同地生產の海參は全部滿洲方面に直輸出さるゝ狀況にして相互の利益尠からずるを以て將來益々有望の域に向ふ可しと觀測せらる

◎製煙取引高

小賣價額百七十萬圓

本年一月より五月末に至る鮮人製造煙草の製造額は日付紙卷煙草三億四千六百四十二萬七千本兩切紙卷煙草十一億八千六百二十六萬本刻煙草一萬八十一貫なるが同期間に於ける其の取引數量は日付二億一千九百十九萬五千本兩切十億九千九百九十七萬三千本刻煙草四千五百三十二貫にして此小賣價額總計百六十八萬七千二百六十四圓を算せり

□二年振りに見る京元沿線

原野容を改むる今日の狀=開發の努力は空しからざるべし=元山府民に望む

野田東拓副總裁談

北鮮行かれ、イヤ途々不可抗力の爲めに元山までも引返したよ、併し話す事はあるさ、と

▣鐵原から平康、福溪に到る邊の山は一昨年通つた時分には石ばかりであつたが、今日では石も半分になつて居る。同時に田畑の有樣が餘程進步して見られた。從て畑が田に變ずる傾向も多く見られた。劍拂浪より洗浦に至る草茫々たる原野は一昨年頃は全く手も著けてなかつたが、今年は地方民各自の力が段々拓いて居るやうだ。今四五年も經つたら相當の生產地になるだらう。此邊には何を作つて居るかと車窓より眺めるに、素人眼ではあるが、主に馬鈴薯や稗の類であつた。馬鈴薯の栽培は最も妙だらう。李完用伯なども彼の原野を澤山所有してる人だが、吾輩素人としての評ではあるが、彼處には亞米利加式の機械を入れて開拓したならば、或は眞個な畑になるかも知れぬと思ふ。若し果して然らば是れ單り個人の利得たるのみならず、又國家の利益でもあらう。

▣三防を經て高山に行つて見れば此邊も亦一昨年と異なり、田畑の有樣が騷然として認められる。元來不進步な所で、一昨年通つた時には、どんなものであらうかと懸念したのだが、今日は案外に進步して居る。一體彼の地方の山林は他に比して最も著しく繁つて居る、今度元山より鐵道の便によつて文川まで行つたところが、元山を中心として南ふの方面は一層山林の繁り方が著しい。從つて田畑も良く、灌漑の如きも彼の地方なら如何ともなるであらう

▣河川の如きも南鮮地方と異ひ、白砂が堆くなり、全く內地のやうな土砂の床を有つて居る。或は彼の近傍には鑛物は無いかも知れぬ。併しあの模樣であれば永興までの間には良い富源もあらうと思ひ是非北行を實行する積りであつたが、建築列車に便乘しても行く積りであつたが、文川から高原まで五里許りの間が雨あがりで道も壞れ、便乘が出來ぬので行つて見る事が出來なかつたのは遺憾の次第である

▣今度は海路北鮮に行く筈であつたところ、不幸にして風雨の稱模に制せられて行く事が出來なかつた。此點はそんなに殘念とも思はないが、永興まで行けなかつたのは最も殘念に思ふ。尤も元山では府尹、電燈會社の社長、鮮銀支配人、元山毎日の諸君を主として俳筵が催ほされ御優待にあつかつたのであるが、却々恐るべき俳友諸君で、彼地の俳界は非常な進步である。吾輩なども少し勉强せねばならぬと大に悟了した

▣又元山毎日の紙上に於ても元山府民諸君に希望して置いた事であるが何分元山港の貿易表を見るに外國殊に露西亞に向つての不進步は殘念でたまらぬ。日露の關係は新たに協約も成立して、今後一層密接となるの時に當りて、元山府民たる諸君、異々も御奮發の事を更に京城日報の紙上を借りて望んで已まぬのである。……君こゝの所は二號活字でも使つておいて吳れ……。

◎郵貯受拂概況

朝鮮郵便貯金の六月中に於ける受拂概況及び現在高を聞くに預入は新規人員一萬八千八百九十四人金額百五十二萬二千九百圓にて拂戾は全拂人員五千九百十六人金額百卅四萬九千八百圓を算し預入拂戾し共前年に比し增加し總額又著しく激增し內地人は人員二十三萬一千七百人金額七百二十三萬八千圓鮮人六十七萬一千人金額百七十三萬三千圓合計人員九十萬二千人金額八百九十七萬一千圓なりと

◎燐寸移入狀況

仁川に移入せる燐寸は黃燐種を主として安全燐寸之に亞ぎ受渡し方法は概ね沖渡しにて運賃は荷主持陸揚賃及び關稅は引取人にて負擔し居れり昨年中仁川港に移入しにる總高は二百九十萬一千餘圓の巨額を見たり今年又一二三月には多額の移入を見たりしが著しき多數の移入は忽ち在荷停滯し其後大なる著荷を見ず目下の賣買相場は一噸(六箱入)四十八圓處なり

◎專門校在學者

本年四月より開校されたる各種專門學校の入學志願者は內地人二百三十八名、朝鮮人六百八十二名、合計九百二十名なるが、其內入學を許可せられ現に在學中なるは內鮮人を合し百七十一名なり、今之れを學校別に見るに京城專修學校は全部朝鮮人にして三百八十三名の志願者中より五十六名を入學せしめ、醫學專門學校は內地人六十七名、朝鮮人二百六十一名の志願者に對し內地人二十五名、朝鮮人五十名を收容し、工業專門學校は內地人四十七名、朝鮮人三十八名の志願者より內鮮人合計四十名を選擇收容しつゝあり

◎納稅と龍山出張所

從來京城府龍山出張所にては滯納稅金の收納は府稅のみを取扱ひ國稅、地方費、賦課金の滯納の分は之を取扱はざりしも本年六月以後は同出張所に納附するを得る事となりたるが學校組合費も同出張所內派出金庫に於て取扱ふ事となれば同方面の納稅者は結局一切の稅金並に學校組合費の納附は龍山出張所にて辨ずることを得る譯なり

◎道廳增築工事著手

京畿道は近來事務の繁忙を來すと共に廳舍の狹隘を告ぐるに至りたれば今回勸業係の一棟を改築することゝなり此程同勸業係は一時官化堂に移轉したるが工事は直ちに著手し來る九月頃迄に二階建新築廳舍の落成を見る筈にて北後に於て一部事務室の變更を行ふ可しと

人事消息

▲李谷咸北道長官 十六日夜入京山木旅館へ
▲今西龍氏(京都帝大助敎授) 十七日夜入京不知火へ
▲女子高等師範學校一行 入京中の處十八日朝退京の豫定
▲大內暢三氏(前代議士) 十七日入京朝鮮ホテルへ
▲大津誠吉氏(明治商業技師) 入京中の處十七日夜退京

▣南言北語▣

南方派が飽迄も主張して居た北京帝制派の處罰問題は却々容易に決しなかつたが愈々十三日の中合で宣布した▲其の文面を見ると楊度、孫毓筠、梁士詒、朱啓鈐、周自齊、胡瑛、薛大化、夏壽田等は國體の改造を倡導して全國の擾亂を來たす▲其罪實に容す可からざるを以て法廷に交附し法律に依りて處斷し其罪狀を天下に宣告し以て後世を警む▲其他の威勢に迫られて已むなく附和せし者は一律に寬恕すと▲魚はペロリと舌を出して逃げて居る吞舟の之で先づ南方の顏も立つ譯だ▲のみならず指名された連中も最う一人も北京邊には居ないお先に失敬して外國や管外でニコ〳〵して居るだが其の無用が用に立つから矢ッ張▲之れぞや折角の懲罰令も無用の樣り支那の事は判らぬ▲と云ふのは南方が之に囂辭して統一の實蹟を擧げる事も出來ねば▲共和新造の今日彼等の處罰で人心も一新する効があると云ふから妙だ▲結局は缺席裁判で先づ之で帝制も打ち切り▲の樣にも見ねるが南方が之で承知するや否は問題だテ▲孤峰參謀長の咸南平北視察途上の口吟を御紹介申さう▲『路入咸南天地新、長津一帶氣如春、峽中豈止風光美、馬上別看多美人』▲最一つ平北の分は▲『朝發中江向義州、靑河漾々路悠々、爲雨爲風任天意、無盡乾坤一葉舟』

謹告

大正五年五月三十日以前弊社代理部發行の書籍券所持の御方は本日より向ふ三十日以內に相當書籍と引換方御申出で相成度同期日經過後は斷然無効と可致候條此の段謹告候也

大正五年七月十七日

京城大平通一丁目 京城日報社代理部

日韓書房 新版報告

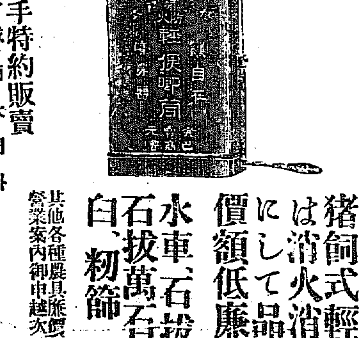
朝鮮總督府編纂 林野分布圖 定價二圓 送料十二錢
內田鉐五郎著 採鑛設計 定價一圓七十錢 送料十四錢
井上泰岳著 實業青年 成業の要義 定價六十錢 送料八錢
浪六著 人の垢 定價九十五錢 送料八錢
中村蘇二著 新俳句自在 定價一圓二十錢 送料十二錢

京城本町二丁目

意匠嶄新にして價格低廉なる
印入手拭及袢纏
御申越次第手拭の見本送呈
大阪南久太郎町四丁目 上村商店
電話東二六九三番 振替東京一〇〇五六番

口繪も讀物も涼しさ溢るゝ八月號
少年世界
東京本町 博文館
御伽御前講演の記……巖谷小波
實話報國の帽子代……
一番面白かつた少年時代の夏の思ひ出話……三十名士と記者諸家
國を思ふ兒童の赤心……佐藤少將
水代を節約し海軍充實費に獻金の計畫發表……
▲洪水に惱む動物……
▲マニラの鬪鷄……
▲日本見物に來た南洋少年……

少女世界
笹舟草紙(お伽小說)……巖谷小波 沼田笠峰
夏休の中或る出來事(小さな笄、犬二匹、電報、馬入川の岸)
金の鍵(合作小說)……岩崎千代子 佐野都梨子
▲榮ある日
▲波路はるかに
▲別莊の書
▲まごゝろ
▲兄の改心
▲大懸賞 名所しらべ



猪飼式輕便唧筒は消火消毒兼用にして品質堅牢價額低廉なり
水車、石拔唐箕、石拔萬石、籾摺臼、籾篩
其他各種農具販賣仕候 營業案內御申越次第郵送可致候
一手特約販賣
京城南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
電話長四〇三番 振替口座京城三七八番

……を行ひ經費の節減を圖りつゝあるが愈々實施の上は一箇年十五萬元內外を得べしと

……田地一萬餘畝を得らるゝ由にて支那官憲は急に之を阻止すべく準備中なりと

……同氏は二三日前制錢數十萬元を買收歸奉したり右は豫定の如く分析の上銅貨に改鑄さるゝ筈なり

……毆打し事務員を毆打し作業を妨害する等の暴行を働き其都度官憲出張して取鎮めたるが同地附近には多數の……

……七月四日午前八時過中林洞李本某方家人の不在中長硝子戸を捻ね開けて忍び入り銘仙女單衣一枚外六點……

◉誘拐して賣る 沃溝郡開井面開井里餅賣杜姓女(三十)及び群山府松昌洞崔姓女(三)の兩人は共謀の上……發覺其の筋の手に捕へられ取調べの上全州支廳の合議裁判に附せられ杜姓女は懲役一年崔姓女は輕……

……乘組夫金本時男……二時頃機關部において就業中突然頭上より石炭運搬用のバケツ(重さ四……

櫓太鼓 四日目

大相撲四日目の十七日は相變らずの日本晴れ四日目となつて好取組多く就中、兩國に宇都宮、九州山に綾川、大錦に栃木山、對馬洋に西の海等の好取組人氣を煽て九分の入、理髮業者、鎭西山會、在郷軍人會、憲兵隊員等の團體見物あり入場者約四千人にして中入後の取組に於いては各番毎に破るゝが如き喝采を博し午後五時三十分打ち出したり

東雲 宮錦 宮の國 平戸灘
寶高山 小島 武藏川 八海山
宮の森 輪島洋 加納山 大江嶽
太平山 常陸學 江戸崎 播上得
大和川 若の森 鷲錦 疊門
光風 相の川 常陸島 大の近
鞍若 常緑 小西川 磯良
因幡山 龍山 信の川 國の矢
關ケ嶽 夕銀 青木洋 泰山
芦川 岳の山 關ケ原 錦山
鐵石 北泉 深川 駿河山
宮城川 黒雲龍 大湊 千葉街

唐錦 博秀山 長門洋 柳ケ島
岩戸山 若津川 江戸櫻 能代山
鎭西山 博秀山 福柳 友ノ浦
若常陸 紀ノ川 立昇 立錦
羽州山 小島洋 大門岩 綾館
男島 朝日山 玉柳 成瀬山
一湊 常の花

中入後

龍ケ崎 逆鉾 稻葉嶽 駒泉
宮城山 朝緑
四海波 近江富士
紫雲龍 岩木山
梅川 小常陸
釋迦嶽 源氏山
宇都宮 兩國
九州山 綾川(分)
大錦 栃木山
西の海 對馬洋

本社番外好み

宮城山 したてなげ 岩木山

右の內▲逆鉾●龍ケ崎● は立上り逆無二無三に突き込むを龍劍の峯にて右差しとなりスクヒ投げを見せれば逆敵の上手褌を引んとするを龍素早く得意の逆り出しを見せ寄切つて勝

▲駒泉●稻葉嶽● は立上り稻葉敵の二本差を極めて進二無二押切つて勝

▲朝緑●宮城山● 宮城山最初の相撲取り直しにて化粧立二回にて立上り朝の出ハナを宮城叩き込みを見せて右差となるを朝嫌つて突放し解けて宮城喉輪にて攻め手車となり朝の押すを宮城素早く右差しとなつて下手なげを打つを朝は嫌つて下手褌を引きて寄るを宮城褌を切つて土俵際にて得意の掬ひ投美事に極まつて宮城の勝

▲四海波に近江富士● は兩力士共に老功同士の相撲として多大の感興を引きたり化粧立數回近江の聲にて立上り近江素早く右を差して烈しく寄るを四海之を強引に極めて極め出さんとするを近江劍の聲にてとつたり再びを打つて廻り込み二本差しとなり再び寄らんとするを四海之を門にほつて正面の土俵際まで詰めんとすれば近江危く土俵を割らんとして廻り込み巻落しを見せれば四海危うく殘つて土俵際にて近江の腰砕けるを寄りを見せて土俵際にて突落せば近江見事に極められて敗は力の入つた相撲

▲岩木山●紫雲龍● は立上り紫雲の出鼻を岩木ハタキ込み敵の殘るを素早く右差となり二三回掬ひ投げを打つて投げを紫雲外かけに防ぎ再び岩木の掬ひ出さんとするを吊りきれず外掛に吊りにて凭れ込めば紫雲土俵際にて捨鉢のウツチヤリを見せ勝ちたるは岩木に取つていさ惜しかりき

▲小常陸●梅川● は立上り小常烈しく突合ひ右四つとなり梅嫌つて其手解け手車となるを小常素早く二本差しとなつて押さんとするを梅突放しながら突出して勝

▲釋迦嶽に源氏山 は立上るや右四つとなつて釋迦寄りを見せれば源土俵際で耐ねんとするを寄切つて勝

▲兩國に宇都宮 は今日第一の好取組みとして滿場の目を瞬らしめたり立上り兩左差となつて敵の寄るハナを得意の掬み投げを打てば宇都巻きかへて二本差しとなり共手解けて手車となり兩再び掬み投げ二三回を打てば宇都上手深かみ投げし爲め兩の掬み投げ利かず宇都差手を抜きて兩の耐へんとするを突き出して勝

▲九州山に綾川 は初日以來の好取組兩力士共化粧立五回九の聲に立上り右四つとなり九州進二無二よるを綾九州の右手を殺して下手投げを打てば九腹を利用して吊を見すれども吊り切れず大角力となり水入、水入後綾暫く上手褌を引き九の上手褌を引き寄りを見せれば九廻り込み中央まで寄返へし双方共力入つて引分けは日本第一の大角力なりき

▲大錦栃木山 諸聲にて立上り栃木烈しく突出さんとして二三回突合ひ栃木左差しとなり素早く寄りを見せれば錦之れを泉川に掬め極め出さんとせるを栃木腰を下して容易に極まらず栃木の厭やがる掬ひ投げを打てば大は素早く左を差し左四つとなり大角力にて水入水入後栃木巻き替ねて巻き落しを見せんとするハナを錦に猛烈に寄り立てられ正面土俵際にてウツチヤリを試みしも錦は敵に其の體を預けながら凭れ込みて錦の勝は場內割るゝばかりの大喝采なりき

▲對馬洋、西の海 は立上り右四つとなり西、腰を落して對馬の寄るを耐へ、對馬の下手投げを打つを西上手投げに打返へし對馬危く殘り中央までよりかへすを西強引の上手投げを打つて勝

□土俵の外
五人抜は九州山
五日目も五人抜

東京大相撲も四日目になつた、正面棧敷の勸進元は初日以來少しも欠かさず、熱心振りを發揮する、此の日は特に

▲角力好きの多い 散髮業者の總見と來たので大分彌次が盛んであつた。その中から時々鼻持のならぬ通がり屋が現はれて勝手な熱を吹いたけれども皆道がに熱心に見てゐた。例の幕內の五人抜きでは九州山が壬極

▲簡單に勝放して 名乘りを受けた、本社のお好みの岩木山に宮城山は全く同型の力士で土俵一杯に跳ね廻り飛び違うて鮮かな相撲振りを見せたのは例の人氣力士鎭西山が愛嬌者の江戸櫻と初ツ切を取つたのと共に大喝采であつた、番數も取進んで

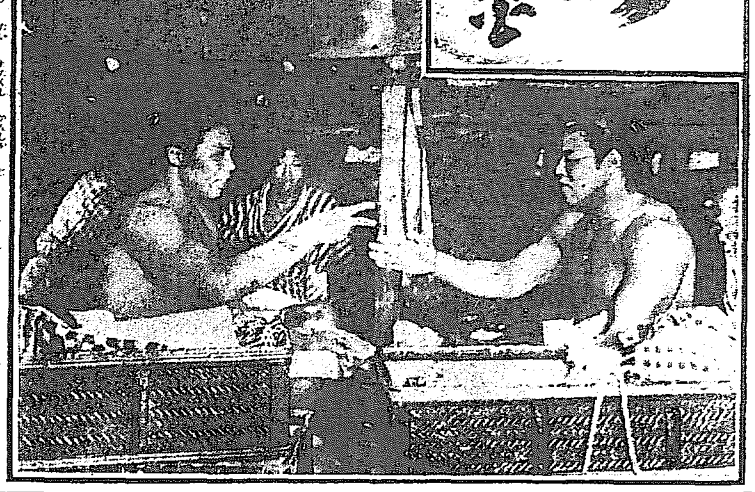
▲中入後の幕內に なると大分熱狂して來たが何處かの棧塲の樣な四十男が東方贔負で東方の勝ちに頻りに聲援してゐたが終ひには手拭を打振つて躍り出すなどの滑稽もあつて益々振つた、此の日の勝負の綾川に九州山、大錦に栃木山の如き錦繪に見るそれの如く壯觀だつたが、五日目の西の海、大錦、綾川、對馬洋、栃木山兩國なども、相撲を見せるだらう、五日目は何れも好取組ばかりだが更に勸進元から幕內及び十枚目の飛付五人抜きを出すさうだ

◉女子の理學士 我國女理學士の嚆矢 十七日仙臺理科大學卒業式を擧行せり同卒業式に於て黒田ちか子(三)(佐賀縣)牧田らく子(二九)(京都)の二名の女理學士あり之れ日本に於ける女學士の嚆矢なり兩人は何れも女子高師範を卒業し後東北理科大學に入學し男學生に遜色なき好成績を以て今回の月桂冠を戴ける才媛也(東京特電)

◉スミス氏と語る 來年再び日本の空を飛ばん

札幌にて飛行墜落負傷せしアート、スミス氏は歸米の目的にて十六日午前七時廿五分松葉杖に倚り上野驛に下車直ちに帝國ホテルに入り休養の上二十日横濱より乘船歸米する由氏は往訪の記者に語りて曰く「私の負傷を御聞きになると飛行をした土地の有力家は勿論未知の土地の人々朝鮮を含む日本全國の各地から見舞狀を幾千となく受けました斯かる御同情に對し私は感謝の辭がありません私は來春日本の國花が日本の有らゆる地を飾る頃再び來つて花の薫る空を飛り花よりも美しき御情誼に酬ひます」と(東京電報)

(上)宇都宮の筆蹟



(下)宇都宮と栃木山の拳……東支度部屋にて……

支度部屋

▼ブラ下がつた優勝銀盃 明くなつた梅川 紫雲龍の駄洒落

見物にも力士にも大分油の乘つて來た四日目の支度部屋は相變らず活氣が漲つてゐる。然かも此の日の成績如何によつて本社の銀盃候補者の數に入るかどうかが決まる事とて何んとなく緊張してゐる。稻葉嶽に無雜作に突き出されて踊つて來た駒泉は『些しも力が入りません』と

▽可愛い顏を 鳥渡曇らせたが別に屈托の無ささうな容子でさつさと歸つてゆく、四海波と馬鹿に好い角力を取つて戻つて來た近江富士は『續け樣にやられたんで弱つた』と急で身體を流してしまうと明荷の前に座り込んで今着いたばかりの小包を開く、其處へ危く岩木山を打ちやつて勝つた紫雲龍がやつて來た、『おゝがせい〳〵、鉢頭打來つたぞ』と皆がしく洗ひ場で水をつかふ。

▽降雨の夷樣 だつた『新聞をつかまへて「なあオイ俺れの相撲は物言ひがつかなかつたかい』と言ふのを一サアいゝ相撲だつたが惜しい事には―』と紫雲が受けると『何んだいそれは―』とその時出て行かうとした宇都宮と近江富士が同時に聞く。すると紫雲龍澄ましたもので『鯛(體)が無かつたよ』と頗る御機嫌だ。小常陸に勝つて嬉しさうに砂を落しながら『あゝ漸く明るくなつた』と言ふ、敗けた小常陸の例の口惜しさうな顔を見るのが氣の毒で遠慮してゐると果して極り惡るさうに浴衣を引掛けながら車夫を急き立てゝ部屋を出る、源氏山に勝つた釋迦ケ嶽例もの

▽柔和な顔に 溢れる樣な微笑を湛ねながら『始めて芽が出た』『此方も随分弱いが向ふ樣も今日は弱かつたね』と包みきれぬうれしさを見せる。宇都宮は出る前、大きな香水噴霧器に水を一杯入れてそれを取的連中の後ろから打ちかけて吃驚するのを見て喜んでゐたが、對敵兩國を造作なく仕止めて踊り『さア歸らう踊らう』そこ〳〵歸つてしまう。

□大錦と新聞

◆新聞に興味を有つ大錦 ◆親父さんを連て本社へ

大錦は何事にも興味を有ち得る男だが殊に寫眞に對しては大の熱心家である丈それだけ

▽新聞に對 しても興味を有て新聞を刷る所が見たいと言ふので十七日午後相撲が

▽親父さん を伴なつて午前本社へ這つて來た、その時は恰度京城日報の夕刊が刷り上がつて毎日申報を印刷の最中だつたが、發版部から下りてくる新聞紙の

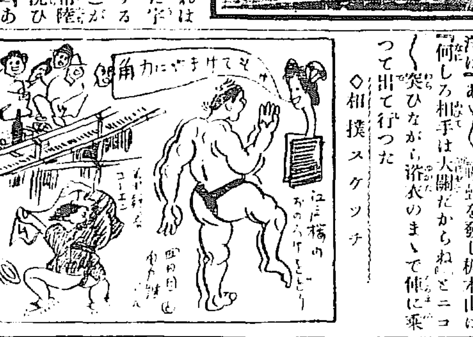
▽紙型を取 りそれに鉛を溶かし込んで鉛版とするまでの說明に一時間一萬五千の輪轉機の構造、一時間一萬五千の刷出力等に細に亘つて說明すると、それを又一々親父さんに

▽言つて聞 かせ、成程々々と頗る感心してゐたが整版工場ではビの活字の細かいのに親子で驚き寫眞部では寫眞に深い趣味を有つて居り、一通りの心得があるだけに

▽頗る注意 を拂つて見物し暗室が一杯になる程の寫眞に入つたりなどしてゐたが、新聞の寫眞銅版の素敵に早く製版されるのには今更ながら感心してゐた

九州山と大相撲になり遂に分けた綾川は『あゝ苦しい苦しい、右四ツにならなければ何んにも出來ない』と大きな

▽息を喘ませ て戻つてくる。九州山は洗ひ場で『綾川關は四ツ相撲が上手たからあゝなつては吊らうにも吊られない』と言ふそばから弟子が『此の前の對馬關と宇都宮關の時と同じで勝身に行つた方が負けだ、何しろ身體は大きいし背は五分だしね』と言ふ、大錦に負けた栃木山と對馬洋に勝つた西の海と一方の大錦と對馬洋は各々見物に揉まれながら引き上げてくる、對馬洋は『あゝ〳〵』と喘聲を發し栃木山は『何しろ相手は大關だからね』とニコ〳〵笑ひながら浴衣のまゝで俥に乘つて出て行つた



◇相撲スケッチ

◉不忠者を蹴殺す 全北全州郡九耳面孝潤里農李順九(二七)は常に自家に使用せる朴成實と云ふが父李允白の命に從はず且つ李允白に對し無禮の言語を發したるより非常に憤慨し陰暦四月二十日同人を蹴り倒したるが其の拍子に傍に在りし石にて前頭部を打ち頭蓋を碎き遂に死亡したるより李順九は傷害致死罪として其の筋の手に檢擧され全州支廳の公判に附せられたるが懲役二年に處する旨言渡されたり

□東京大相撲星取表 (○は勝●は負)

東方

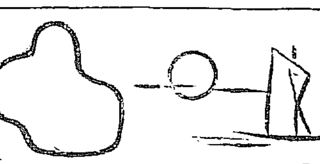
西の海	○○○○
綾川	分○休休
栃木山	●預○
源氏山	●●○●
宇都宮	○○●○
紫雲龍	○●●○
近江富士	●●●○
宮城山	○○●●
梅川	○分●●
稻葉嶽	○○●○
龍ケ崎	○○●○

西方

大錦	○○○●
對馬洋	●○○○
兩國	●●○○
九州山	分預●○
釋迦嶽	○●●●
小常陸	●●●●
岩木山	●●○○
大の川	休休休●
朝緑	●●○●
四海波	○分○●
逆鉾	●○休

讀者文藝(一等には金十錢の書籍券を呈す)

▲嵌め繪



○舟と月(一等) 釜山本町四 小野吞鐵

▲佳作 忠北 深川緋鯉、大邱安岡碑、龍山家春公、京城杉田凸坊、龍山傍鳥齋、京城奇水、仁川花森、沙里院一刀齋、京城西森

▲次回題 上圖の通りです此變形の圓の中へ指めるのです外へ出てはいけません

課題『露出し』と掛けて 締切十七日 發表十九日
同『十日』 同十八日 同廿日
同『鰻女』 同十九日 同廿一日
同『柳』 同二十日 同廿二日
一口噺題意 同廿二日 同廿四日
次回解答 同廿三日 同廿五日

◉募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以內の事▲此規程に據らぬものは沒書

東京大相撲
讀者優待
割引券
京城日報社
本券御持參の方に對しては一名限り二十錢の木戸を二十錢に割引致候
—京城興行中—

商業登記公告
株式會社京城水產物市場ハ大正五年七月七日解散シタリ
右大正五年七月拾四日登記
朝鮮銀行ハ大正五年七月拾五日滿洲哈爾賓埠頭區ヒ・コーフ公爵街武拾番地ニ支店ヲ設置シタリ
內地通運株式會社取締役吉村作平ハ大正五年七月四日辭任シタリ
同會社ハ釜山港草梁驛鐵道構內ノ支店ヲ大正五年七月五日釜山府高島町拾番地ニ移轉シタリ
同會社取締役山田源之丞ノ住所ヲ……町弐拾武號參百七拾八番地ニ變更ス
右併大正五年七月拾五日登記
京城地方法院

京日案內
普通(一回付金三十錢…)
番外(…)
◉有給外交員數名採用 希望者は直接本人來談あれ 京城花園町 帝國博覽會支部 501
◉小僧入用 十七八歲自轉車に乘る者 經驗有者 市內身元保證人 京城 502
◉古本熱心高價買入 御報參上 本町四 …堂
◉是非御試驗を乞ふ
◉鍼灸專門 神經痛、胃病 京城並木町五十八番地 佐野回春堂 640

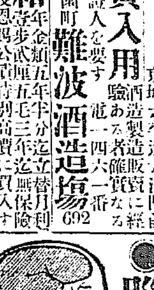
引越荷物運搬 寢臺車運送社 南山町三ノ廿九 503
▲夏期の菓子は滋養に富む▲安くて安心が出來ます ビスケットに限る 製菓御問屋 京城明治町 電一八五一番 701
◉七月廿日開講◉短期六ケ月 支那語學講習會 實用必須の支那語を教授す◉詳細は照會あれ 京城長谷川町五八
◉京城春川間毎日午前八時出發 南大門通一丁目 廣橋自働車 電話二一九番 618
京城春川間自働車 京城水標橋通り 支配人 松田
恩給年金證書 無保險迅速融通 北方 京城武橋町二三番地 國江商會 619
恩給 ▲保證人不要短期無保險 京城永樂町一丁目 江州屋 625
ゴム風船ゴムホースゴム製品各種ゴム製造卸 京城太平通大漢門前 太陽ゴム商會 674
店員入用 酒造製造販賣に經驗ある者 身元保證人を要す 京城花園町 難波酒造場 692
恩給年金類五年半迄無保險 日露戰役恩給公債特別高價に買入す 京城南大門外(舊御成町) 山口屋 694
外務社員募集 日本人三名 帝國公債信託株式會社支部 京城長谷川町九一(電話一五三四) 699
◉ほねつぎ うちみくじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 632

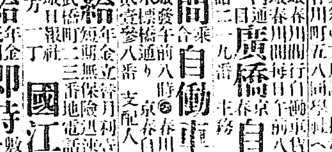
オリヂナル 原料香水 香水中で一番よい 宮內省御買上品 三越呉服店白木屋呉服店其他有名小間物店化粧品店にあり 御注文は東京京橋 本舖 安藤井筒堂

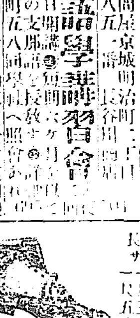
精力を強め腦に明快 身心共快感 氣を増す英藥 飲めば精力増殖 生殖器完全となる 滋強丸 論より服用 ◉陰萎無能 ◉腎虛早漏 ◉腦神經病 ◉健忘

長靴 東京三金の特賣
長サ一尺三寸 金四圓八拾錢
長サ一尺五寸 金五圓五拾錢
ボックス革製編上 第一號 金武圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製短靴 第一號 金武圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金武圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり ▽御注文の節は號種と足型の文數御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて送附す 最新目錄(低代進呈)
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇番 振替東京一七一一三番

◉腦神經脊髓病專門藥
◉中風症腦溢血半身不隨言語澁 ◉顚癇ヒキツケ ◉脊髓病脊髓炎勞衰弱 ◉生殖器障害 ◉腦病神經衰弱健忘 ◉ヒステリー不眠 ◉肋經痛、腦充血
其他腦神經脊髓性疾患の自宅療法には元帝國醫科大學助手ピー・エッチ・シー藥化學者川崎先生多年專攻創製の有効適良藥專門特効自療藥◉同病困難者は病名記入申込次第無料詳報す
京都市粟田御門內(電中二八〇七) 川崎自療法研究所







女鵺

渡邊默禪

「四八」お止し遊ばせ

東京の大河野家には、その夜からして一つの暗い濁が秀子と住江との仲に湧いて出て、離たく心の奥を波れるやうになつた

住江は間もなく座敷に戻つた。見ると何時の間にか小間使がお茶を誂つてゐて、叔母が是非といふものですからちよつと九段下のデパアトメントストアまで來合つて來ました、遅くなつて濟みませんと詫ましてゐた。住江は左樣ですかと言つたきり直と自分の部屋に入つた。程なく秀子の居間から呼鈴が響いて誰かを呼ぶやうだつた。大方お茶だけを先に歸して置いて、自分はこつそり庭口から入つて來たものだらう、と住江は思つた。

翌る日の午後、秀子は書齋に籠つて何か一心に手紙の樣なのを書いてゐる所へ、住江は徐かに入つて來て

『御免遊ばせ』

と言ふと、秀子は悔乎したやうな風で、書きかけてゐた紙の上へ慌てて雜誌を伏せた。そして急いでペンを措いて居ずまゐを直した。

『御勉強中で被入いますか』

『あゝ』机の上を氣づかふやうに瞥と目を流して『何か用？』

「はい、少し、あの、貴女様に」住江は手近にあつた蒔繪の胴丸火鉢をそつと秀子の方へ押しやつて、きちんと其處に坐りながら「お話し申し上げたいことがございますんですがお邪魔でゐらつしやいますなら、又た後程に伺ひます」

「いゝの」くるりと向直つて「なアに？話つて」

「あの、外でもございませんが、昨晩お客から申し上げましたでせうお友人の方からお電話のございましたこと」

「あゝ、聞いてよ」

「假装會とやらをお催しになりますんですつて」

「然うなの。それが什麼して」最う突返ろやうに言ふ。

「いゝえ、什麼と申す譯ぢやあ御坐いませんが、あの、何日頃お催しになりますんで御坐います。お日取が」

「近いうちよ」

「お近いうち？場所はどちらにお取極めなさいまして」

「家よ」

「お客さまはお何人ぐらゐでございます」

「一寸五六十人は有るでせう」

「お待遇やなんかの所は如何遊ばします」

「どうしても夜になるからね、お夜食だけは出さなくちやならないわ」

「へいー」住江は少時默つて秀子を見詰めてゐた。

「不可ないの」

「はア」

「何故不可なくつて？」

「何故つて貴女」住江はすいと摺寄るやうにして「お父様のお留守中ぢやございませんか。少しお考へ遊ばして下さいませんと、奥向の事をお預かり申して居る此の住江が、お後で困るやうなことになります」

「へいー、妙なことをいふのね、爺へみツて何を考へるの。ね、住江」秀子はぐつと氣に障つたらしく、美しい眼に稜を立てた。

「御立腹遊ばしちやあ恐れ入りますが、お留守中だからと申して、決してお遊びなさいますなとお止め申す譯ではございません。只大勢人寄せをして、騒々しい遊びを爲さいますやうなことは、まアお父様のお歸り遊ばすまで、お見合せなさいました方が宜しからうと、斯う存じますだけのことで。假装會とやらは私しつひ拜見いたしたこともございませんが、人様に伺ゐますと、いろんな服つた装をして、歌つたり踊つたりするんだと申すぢや御座いませんか。それだけでも大業ですのに、お客さまが五六十人もお有んなさいましてそして一々お饗應をしなくちやなりませんとなると、この御屋敷は引くり返るやうな騒ぎですわ。私し長いと此のお屋敷に奉公いたして居りますけれど、つい一度だつて何ういふ例をお見受け申したとが御座いません。お父様のお許しでもございましたら格別、貴女お一人だけの御分別で、そんなお催しを遊ばすのは如何なものでせうか。どうぞ此處のところをお汲分遊ばして、能きますなら一時御止まりを願ひたいものでございますが」

歯科診療 京城櫻井町大正館隣 滿田歯科醫院 電話取次二七〇〇番

◉東海生命の復活
＝新築事務所に移轉＝

過般整理中なりし東海生命保險相互會社は今回從來の重役沖那に係る保證金額約十萬圓は松方五郎氏代理辨濟する事となり新規一轉營業に從事し居ら信用恢復を圖る由にて擇て麹町區内幸町に新築中なりし事務所落成につき去る廿七日同所に移轉せり尚は同社重役は全部更迭し松方五郎氏專務取締役社長となり献身同社經營の任に當ると云ふ而して左記の諸士重役に新任せり

專務取締役社長 松方五郎
取締役 諸戸清六
同 阿部市三郎
同 伯爵 川村鐵太郎
同 宇都宮金之丞
監査役 小川源次郎
同 森田話清
同 大島要三

◉綺麗な婦人畫報 上は高貴の御方々より下は一般婦人界の模範を鮮明美麗目も眩むるばかりの光澤寫眞版(四十頁)となし、而ふるに趣味と實益とに滿てる讀み物(百餘頁)を加へて一發となせる東京京橋區治郎外東京社發行の『婦人畫報』は七月號より更に一層內容を豐富にせんが爲材料の蒐集と編輯の改善とに巨費を投じたれば寫眞の優秀而麗なる讀み物の趣味津々たる他に比すべきものなし眞に家庭の美しき友として各婦人方にすゝむ

天然の美しさを遽に現はしお化粧榮え輝くばかりの

ホーカー白粉

一日早くお使ひになりますと一日早く美人となります

東京で一番よく賣るホーカー液と姉妹化粧料として確信有新發見の白粉

御參考迄に
■塗けて生れつきの樣な白さになる
■誰方の肌にもピタリと合ひ塗く力が強いのでお化粧崩れがしない
■他の白粉に眞似の出來ない美白肌料が含む
■使用してある自然の濃淡自在なお化粧が出來る
■皮膚營養の美容劑を含む
■少しの毒氣もない

定價 一瓶 卅五錢 送料內地八錢滿鮮卅錢

全國到る處の小間物化粧品店藥店に販賣す若し品切の節は本舗宛直接振替又は切手代用にて御注文を乞ふ

ホーカー液 ホーカー美髮液 ホーカース井卜 ホーカー白粉

東京和泉橋 本舗 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六

懷中藥ではやツぱり

守田寶丹が一番よい！

一時的の流行や嗜好に投せず飽く迄も品質本位効能本位なるが故に夏の懷中藥としては守田寶丹が一番よい

東京下谷池の端仲町 守田治兵衛 振替東京二九八五番

梅雨

「の下痢病は黴菌性の者多し故に止瀉藥は醫學上殺菌力を有する藥劑ならざる可す……柏村博士のヘルプは此點を考慮し調劑せし者にて從來の賣藥になき消化殺菌、防腐の作用を完備す故に

下痢と腹痛にはヘルプが一番よい

腹具合の惡い時には先づ柏村博士創製の「ヘルプ」を試みよ

下痢、腹痛は直ぐ治り、腸胃は健全に復す！

▲ヘルプ主効▼
▲痢病▲腸カタル▲胃カタル▲腹痛▲食傷▲吐瀉▲時候あたり▲水あたり▲腹瓦斯▲溢腹其他一切腹具合の惡き時に用ひて妙

定價 [illegible]

津村敬天堂

最高滋養

フェロール

本劑は鐵と燐酸と佳快良味なる數種の滋養強壯劑とより成り在來の「フエラトーゼ」代用として益々好評

味は葡萄酒以上にして[illegible]

無く一家の健康を保障し病者には最新の滋養劑なり

▲醫家適應症▼
貧血、虛弱、精力減退
老衰、產後、神經衰弱
病後、肺病、消化不良
其他營養分必要の病症
●各藥店ニテ發賣[illegible]

定價 [illegible]

本舗 大阪道修町 小西久兵衛

暑熱に 仁丹

口中神身 涼味萬斛

金言 [illegible]

各地に偽ドラッグあり御注意

百円進呈

りん病 ばい毒 合藥 請特製試特進呈

淋病藥主藥は治淋劑にし梅毒藥主藥は驅梅内服藥にし醫學上最有効と確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て盛揚配劑せらるゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓進呈

●あらゆる治療を講するも効なき患者兎に角一度相談あれ

にせ物に注意、商會の隆盛を羨み東京京城大連青島其他到る處偽物を賣る奸商あり商會製劑を御購求の諸君は大阪有田取扱を御賞可被下候

◉詳細は本月一日の京城日報御覽

京城南大門外 大阪ドラッグ商會

商標 佛具調進所

京城本町二丁目花月前 小倉佛具店 電話一五七一

滋養 大福麥

ジョキニカケテムシタムギ
ヱイセイジョゼヒメシマセ
電話にて御注文は多少に不拘配達仕候 ハガキ御注文は切手代御送り申候

京城南大門外 池田製麥所 電話

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行
○外航所屬航路(遠洋航路を除く)各航路乗船の時は五分引を以て通絡切符發賣仕候

須磨丸 七月廿一日 後五時出
安東丸 七月廿七日
天草丸 七月廿二日

鎮南浦、龍岩浦、安東縣行
漢州丸 七月廿五日 後二時出

木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
信濃川丸 七月廿三日 後二時出
信濃川丸 八月九日

南浦、關門、神戸、大阪行
須磨丸 七月 日 後二時出

鎮南浦、大連行
信濃川丸 七月十九日 後二時出
信濃川丸 八月四日

大連直行
日米丸 七月廿七日 正午出帆
福州丸 八月六日

群山、神戸、大阪行
宮島丸 七月 日 後五時出

群山、釜山、橫濱行
福州丸 七月十九日 後二時出
日米丸 八月一日

清津、浦潮行(元山出帆)
印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
安平丸 七月十八日 後二時出
宮島丸 七月廿四日

上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 七月二十日 後四時出
城津丸 八月九日 前六時出

御注意 ○印朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯帶運輸取扱 △印は船客のみ ×印は貨物のみ

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話

▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄の割引切符賣出し候

朝鮮郵船出帆

鐵道會社及社外船と貨客連帶輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店に御照會を乞ふ 本社電話長一九五二番二三番 京城南大門通 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

全羅丸 七月廿一日 釜山發
京畿丸 七月卅一日
黄海丸 七月廿五日
成鏡丸
門司より釜山各港寄港雄基間航路

稔城丸 七月廿二日 元山發
昌平丸 七月二十日
鏡城丸 七月 日
元山より各港経由雄基

忠南丸 七月廿五日 元山發
平壌丸 七月 日
城津雄基方面行復航釜山より門司又は長崎行

永興丸 毎月廿八回 元山發
北久味、五里浦行

益徳丸 七月十八日 釜山發
甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行

江陵丸 毎日 釜山發
襄陽丸
長生浦方魚津寄港

三浦丸 七月十八日 釜山發
長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港

海州丸 毎日 釜山發
統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 (二日目一回水浦行)
各港経由麗水行

順天丸 三日目每ニ 木浦發
(麗水より釜山行に接續)

公州丸 七月廿一日 木浦發
各港経由濟州島行西廻

慶興丸 七月廿一日 木浦發
南多島海列島行(月三回)

公州丸 七月 日 木浦發
各港経由濟州島行東廻

宗信丸 七月 日 仁川發
海州經由各港鎮南浦、鶴洞又は白翎島行

江原丸 七月 日 仁川發
南島、大連、芝罘行

麗水丸 七月廿一日 仁川發
晉州丸 七月廿五日
各港経由木浦行

錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸
江華島、喬桐島、漢州行

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君が代丸 七月 日 後四時出帆
大有丸 七月廿四日 後五時出帆
神代丸 七月廿七日 後五時出帆
秀吉丸

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連、太沽、牛莊行
相模丸 八月六日 正午出帆
高砂丸 八月十六日 正午出帆
三河丸 七月廿六日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行
第二共同丸 七月二十日 後四時入港 七月廿二日 前十一時出

阪神行
第二阪鶴丸 月 日 後九時出

西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 月 日 前八時出
(元山出帆)

阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門 電話二六八 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日 後五時出帆
元山、清津、浦潮行 立神丸 月 日 後十時出帆
門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日 後五時出帆
元山、城津、浦潮行 小倉丸 月 日 後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日 後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日 後六時出帆
住須奈、嚴原、芦賊、博多行 天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆

釜山港立新町 大池回漕部

商況 大阪株式特電 [illegible]

大阪三品 [illegible]

大阪期米特電(十七日) [illegible]

仁川米豆取引所 [illegible]

▲現物界 [illegible]